

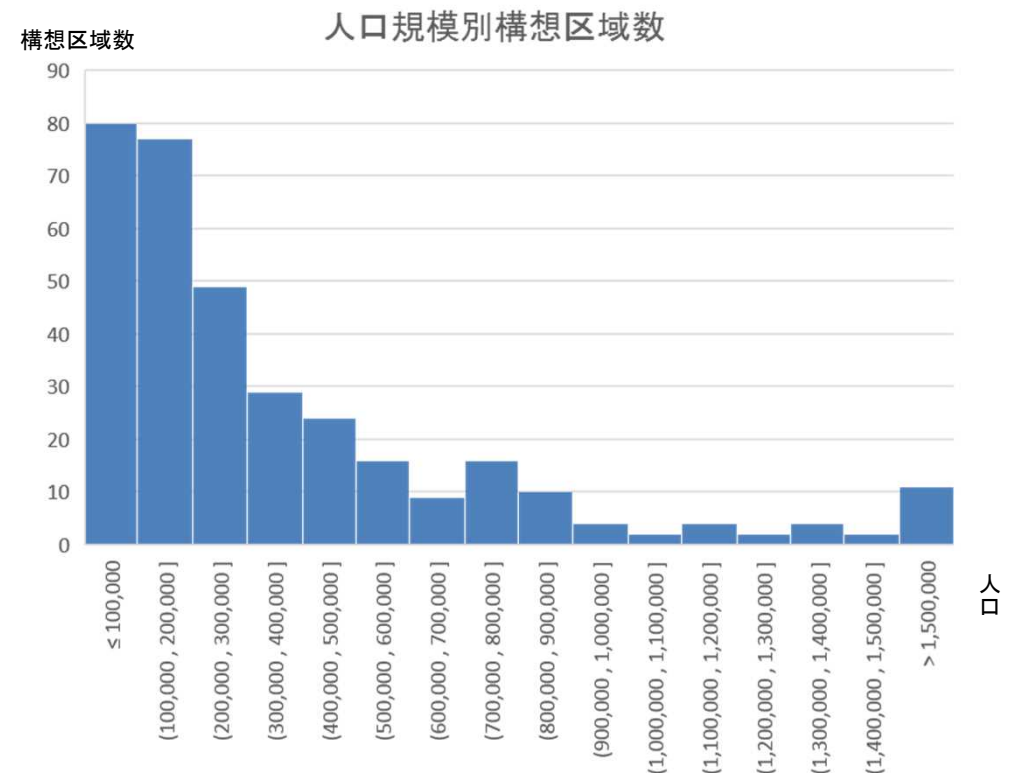
具体的対応方針の再検証の要請に 係る診療実績の分析方法等について

A) 「診療実績が特に少ない場合」に係る診療実績データ分析及びそれに基づく具体的対応方針の再検証の要請について

診療実績データの分析における人口規模の考慮の必要性について

- 各医療機関が所在する構想区域の人口規模によって、診療実績が影響を受ける。
- そのため、人口規模が近い構想区域に所在する医療機関を一つのグループとして捉え、そのなかで診療実績の比較を行うこととする。（構想区域を人口規模によって数個のグループに区分して検討する。）
- 人口規模の分類に当たっては、政令市（50万人以上）や中核市（20万人以上）の基準などを参考にしつつ、人口規模ごとの診療実績のデータも加味し、
 - ・ 人口100万人以上の構想区域
 - ・ 人口50万人以上100万人未満の構想区域
 - ・ 人口20万人以上50万人未満の構想区域
 - ・ 人口10万人以上20万人未満の構想区域
 - ・ 人口10万人未満の構想区域
 の5つに分類してはどうか。

	10万人未満	10万人以上 20万人未満	20万人以上 50万人未満	50万人以上 100万人未満	100万人 以上
構想区域数	80	77	102	55	25

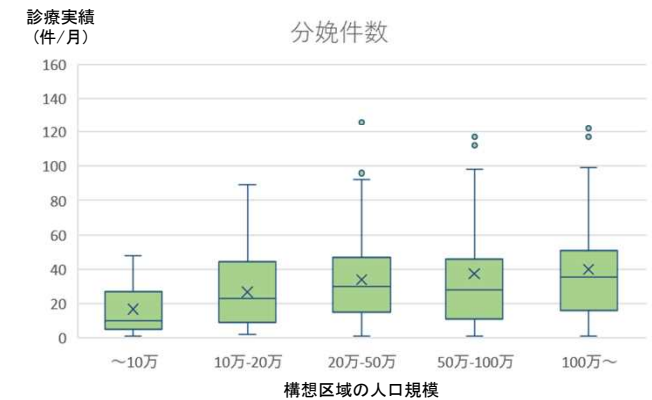
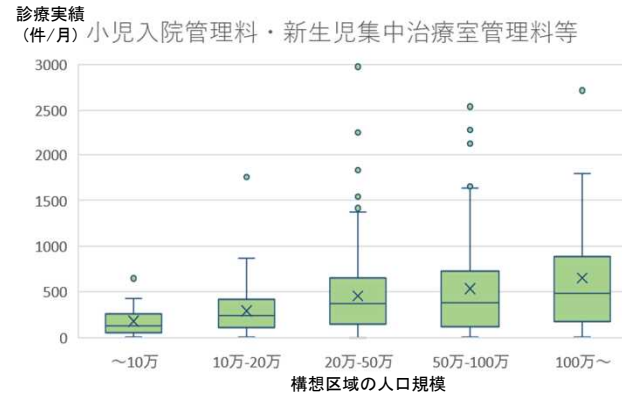
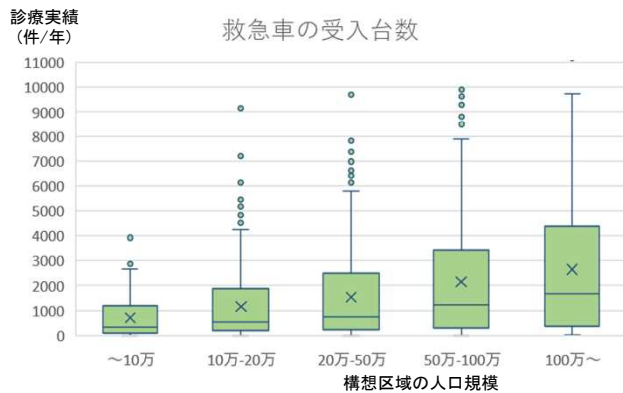
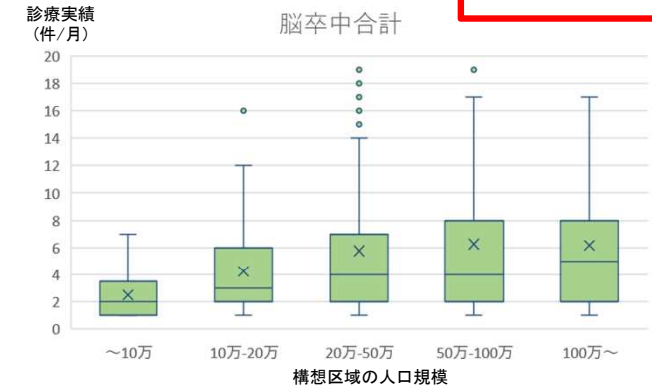
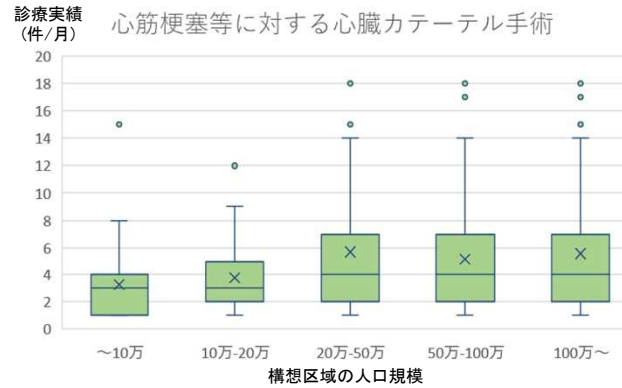
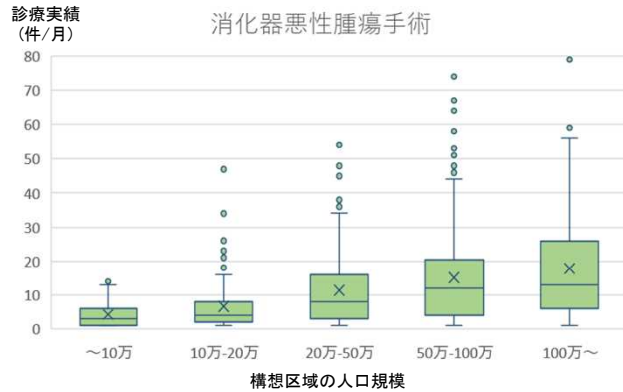


(参考) 構想区域の人口規模と医療機関の診療実績との関係

- 所在する構想区域の人口規模が大きいほど、公立・公的医療機関等の診療実績が多い傾向がある。

構想区域の人口規模と医療機関の診療実績との関係

精査中



(注) 公立・公的医療機関等の診療実績を、所在する構想区域の人口規模に応じて比較したもの。
 「消化器悪性腫瘍手術」： 胃がん、大腸がん、食道がん、肝臓がん、胆嚢・胆道がん、膵臓がんに対する開腹手術・腹腔鏡手術等が含まれる。
 「脳卒中合計」： 脳動脈瘤クリッピング術、超急性期脳卒中加算、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術、経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術・経皮的脳血栓回収術、経皮的脳血管ステント留置術、頭蓋内血腫除去術、減圧開頭術等が含まれる。

A 「各分析項目について、診療実績が特に少ない。」についての分析

- 人口区分ごとに、各項目の診療実績について、一定の水準を設け、その水準に満たない項目について、「特に診療実績が少ない」こととする。
- その基準については、各項目における分析結果を踏まえ、横断的に相対的な基準を設定することとしてはどうか。（例えば、各人口区分ごとの公立・公的医療機関等の実績が下位○パーセンタイル値未満の場合を、「特に診療実績が少ない」こととする、等）

人口区分別 領域・項目ごと/医療機関ごと の診療実績の分布について

(その1:ヒストグラム※で表したものの)

※縦軸に度数(該当する医療機関数)
横軸に診療実績を取ったグラフ

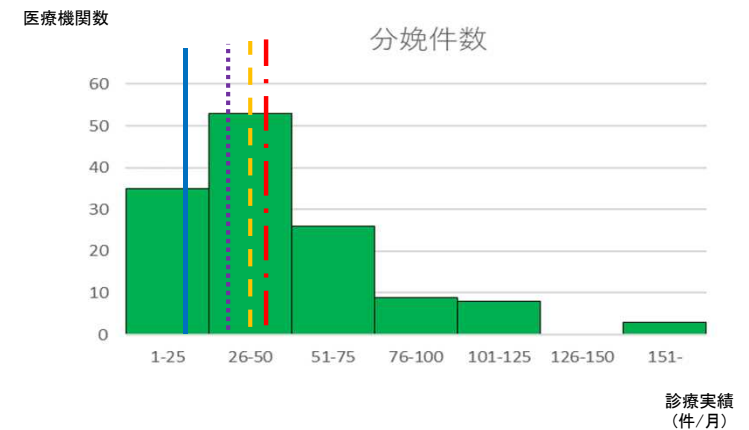
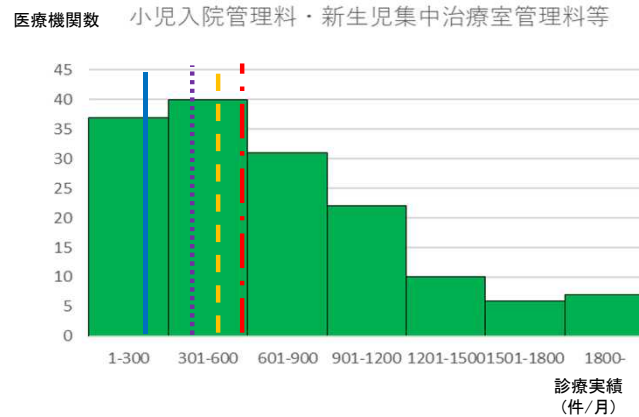
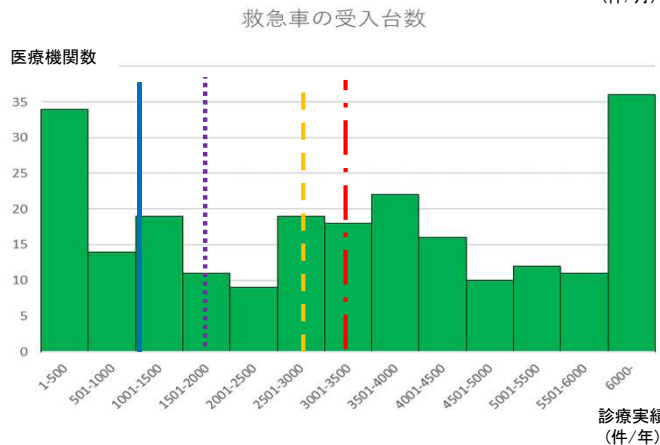
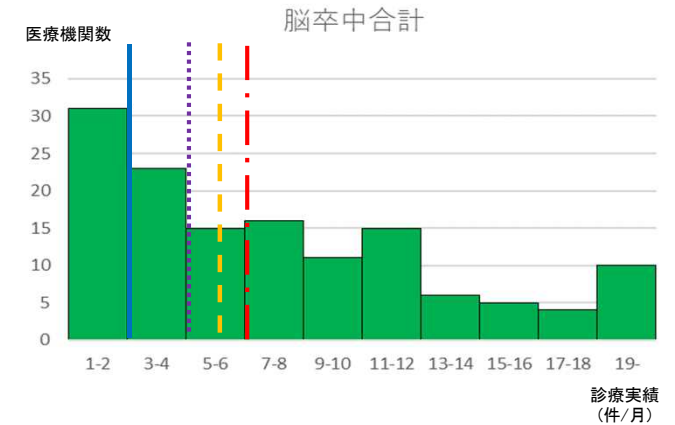
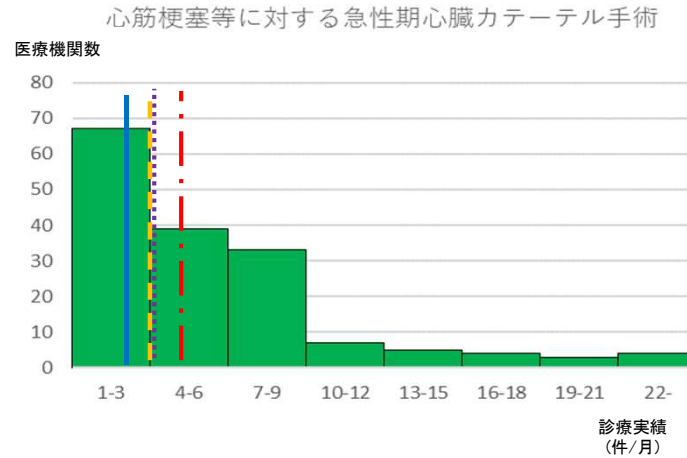
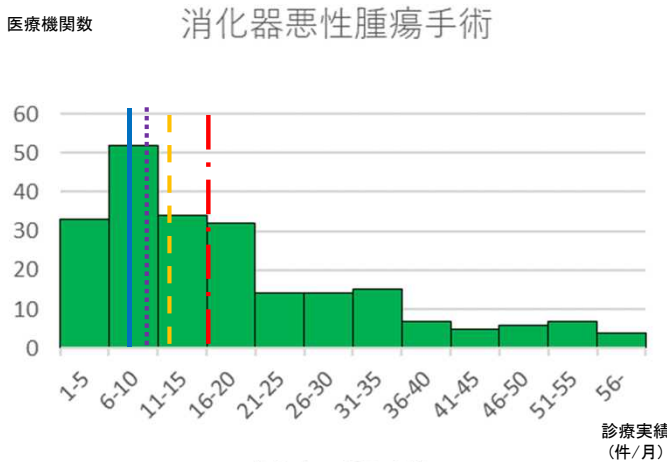
人口区分別の診療実績の分布①

○ 各診療項目ごとの医療機関の実績の分布を参考に下記の通り示す
 (人口100万人以上の構想区域における医療機関ごとの実績の分布)

精査中

人口100万人以上の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

凡例	
— (青実線)	下位20パーセンタイル
⋯ (紫丸点線)	下位30パーセンタイル
- - (橙破線)	下位40パーセンタイル
— (赤長罫線)	下位50パーセンタイル

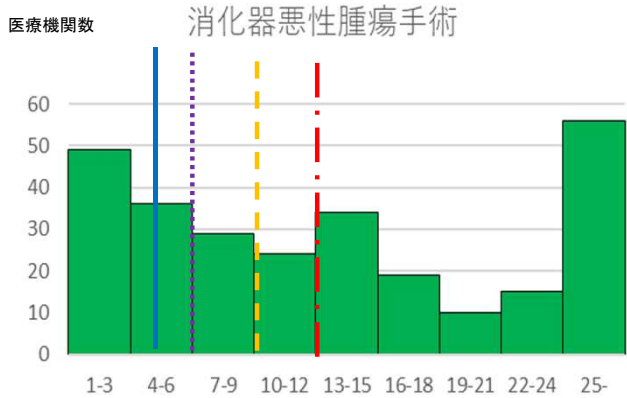


- ※ 診療実績がある医療機関のみのパーセンタイル値で判断する。
- ※ 「消化器悪性腫瘍手術」： 胃がん、大腸がん、食道がん、肝臓がん、胆嚢・胆道がん、膵臓がんに対する開腹手術・腹腔鏡手術等が含まれる。
- ※ 「脳卒中合計」： 脳動脈瘤クリッピング術、超急性期脳卒中加算、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術、経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術・経皮的脳血栓回収術、経皮的脳血管ステント留置術、頭蓋内血腫除去術、減圧開頭術等が含まれる。
- ※ 各領域（例：小児医療）の項目に対応する病床機能報告の項目（小児入院管理料のうち、一般小児医療に関連するもの等）は、厚生労働省が分析を進める上で、地域医療構想に関するWGの構成員等の有識者と協議をしながら決定するものとする。
- ※ パーセンタイルは公立・公的医療機関等のうち、診療実績が「1」以上の医療機関で算出した。

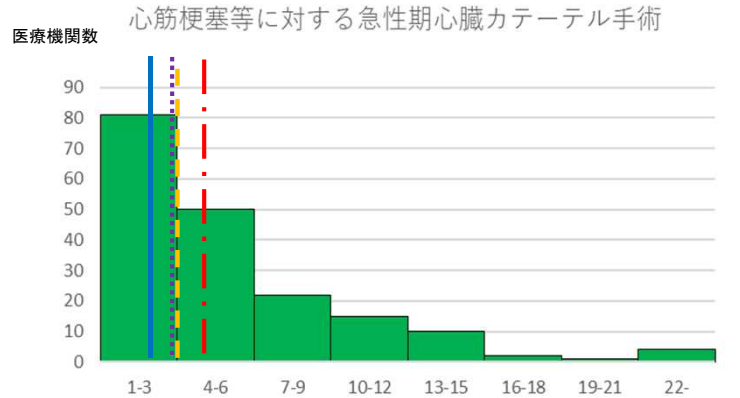
人口区分別の診療実績の分布②

精査中

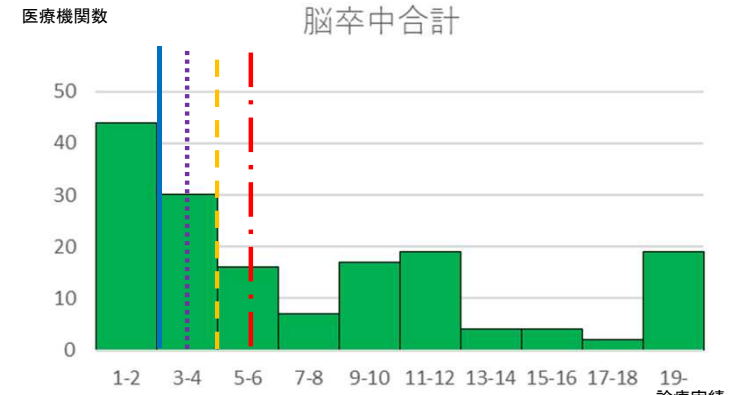
人口50万人以上100万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム



診療実績 (件/月)

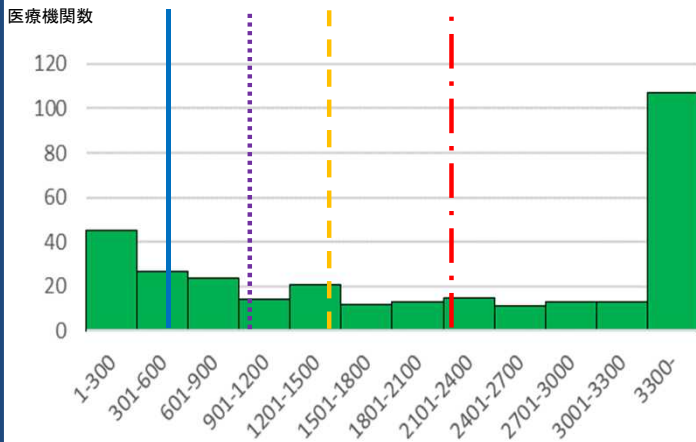


診療実績 (件/月)

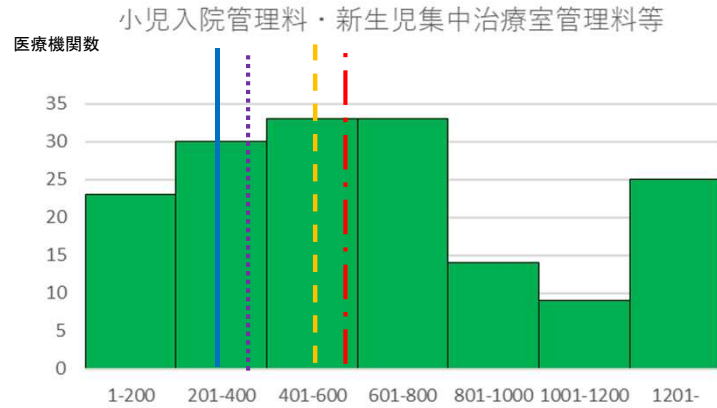


診療実績 (件/月)

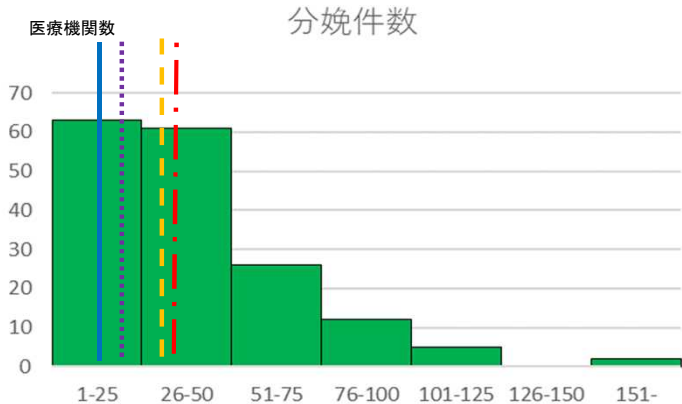
救急車の受入台数



診療実績 (件/年)



診療実績 (件/月)

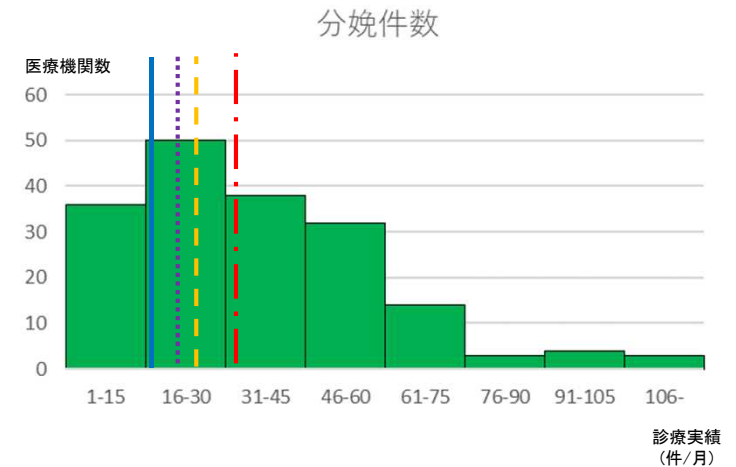
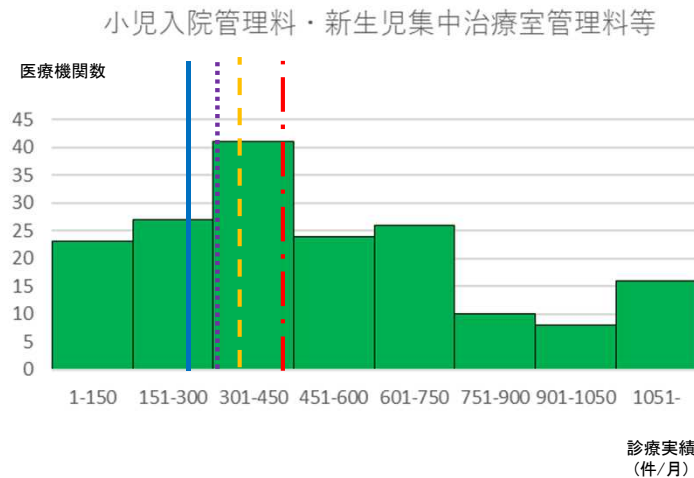
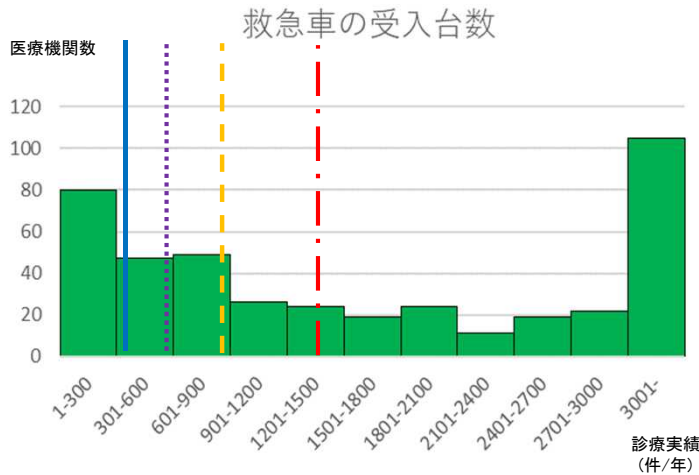
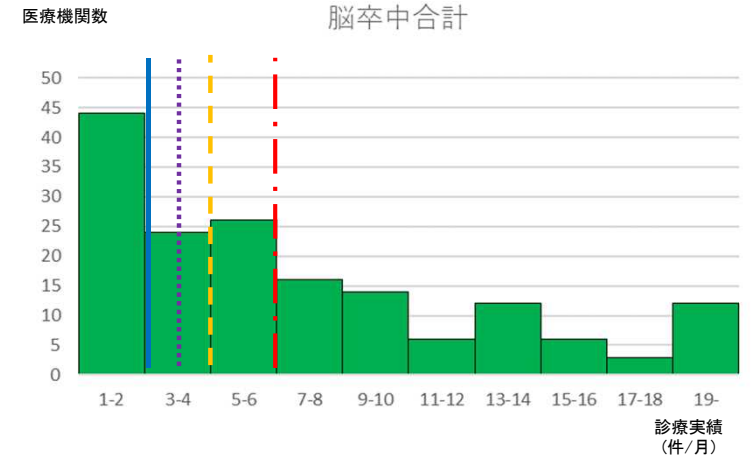
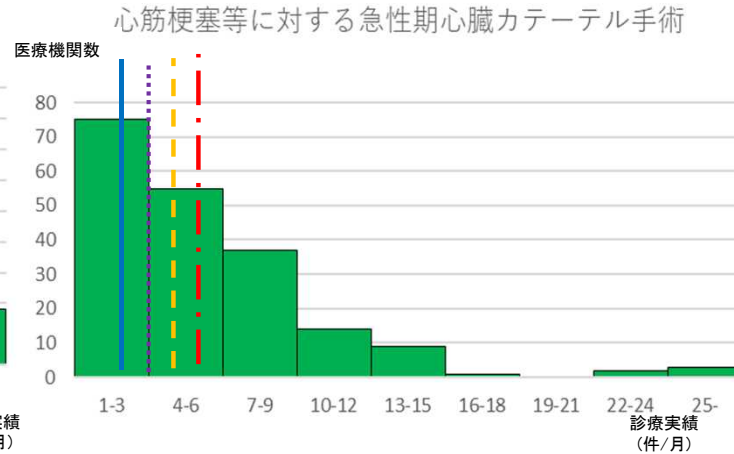
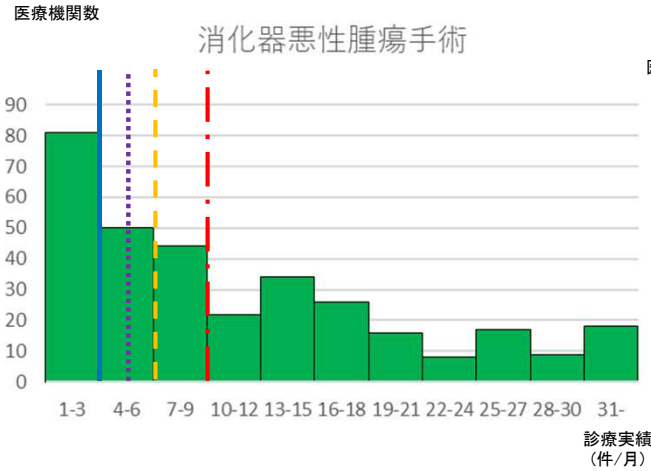


診療実績 (件/月)

人口区分別の診療実績の分布③

人口20万人以上50万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

精査中

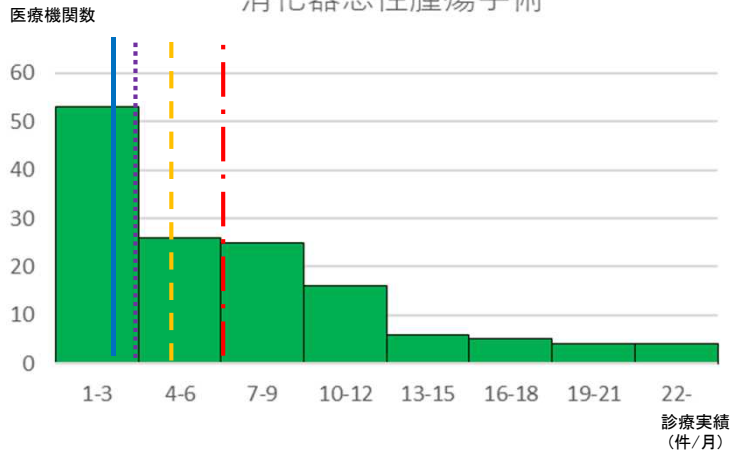


人口区分別の診療実績の分布④

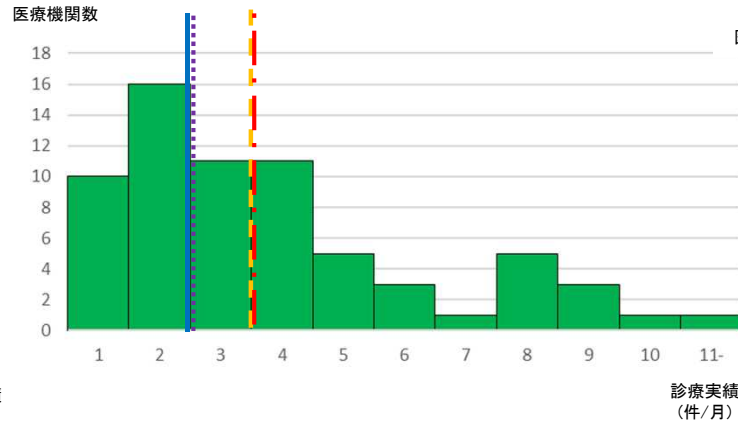
人口10万人以上20万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

精査中

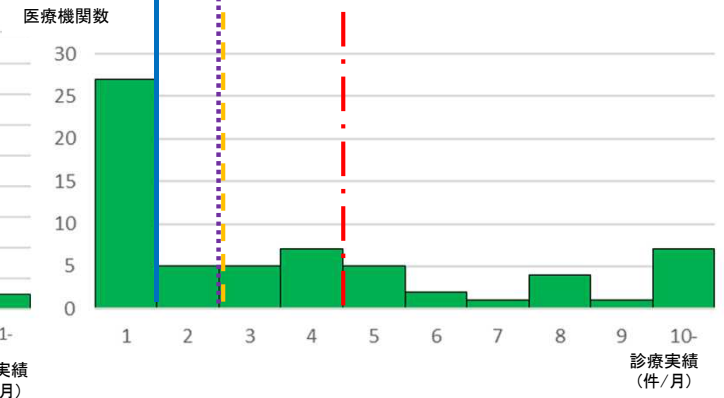
消化器悪性腫瘍手術



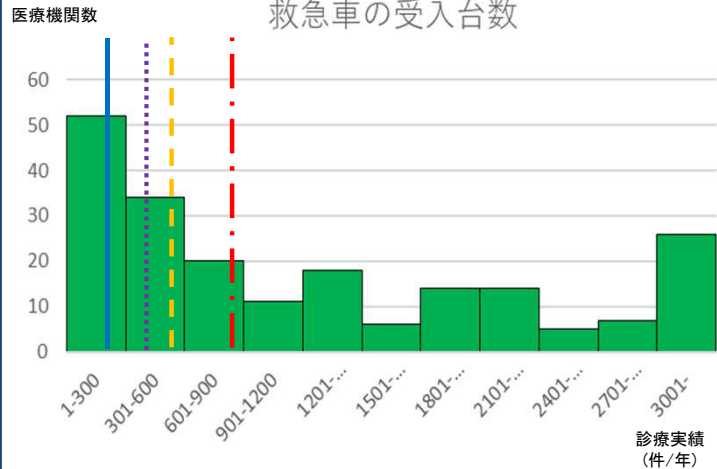
心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



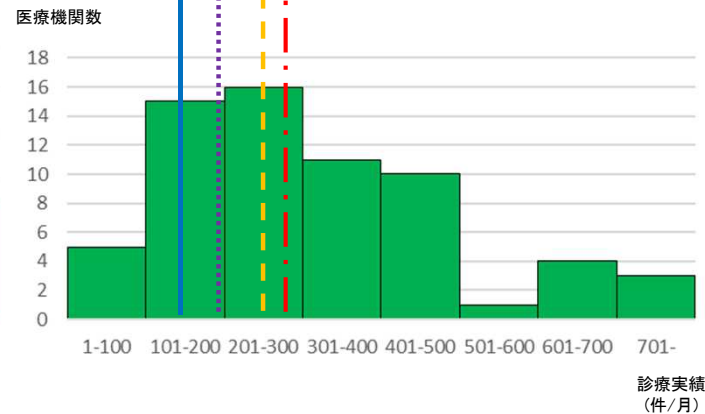
脳卒中合計



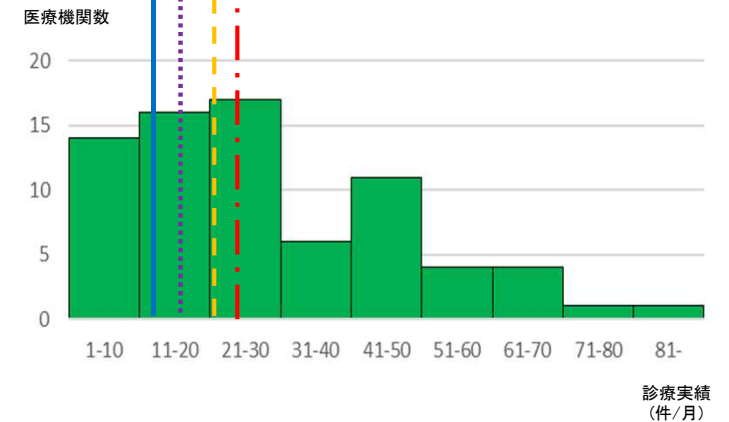
救急車の受入台数



小児入院管理料・新生児集中治療管理料等



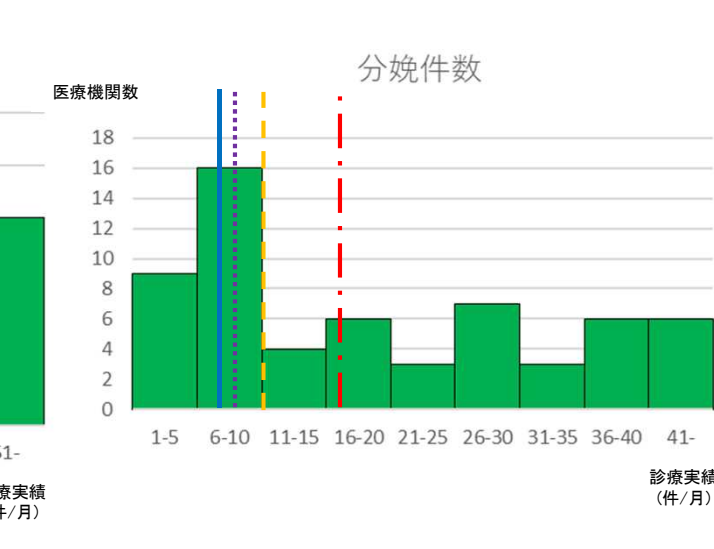
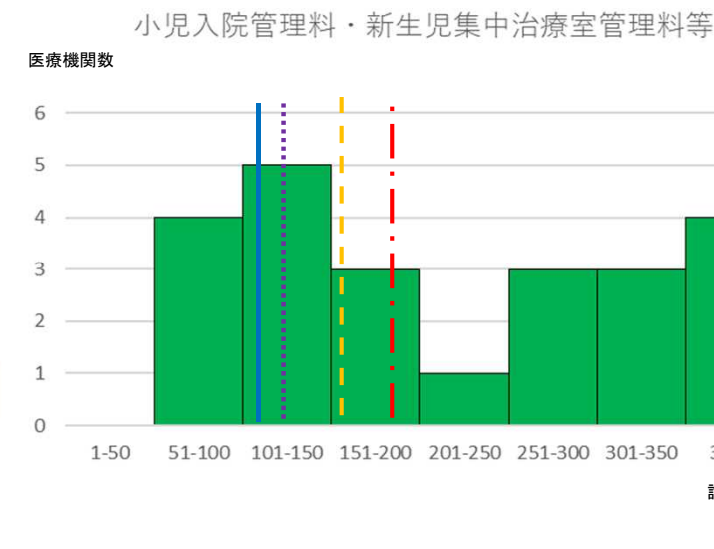
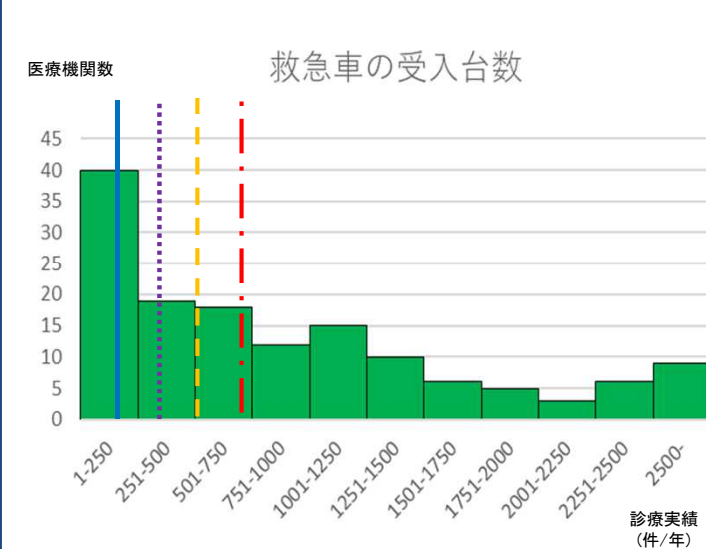
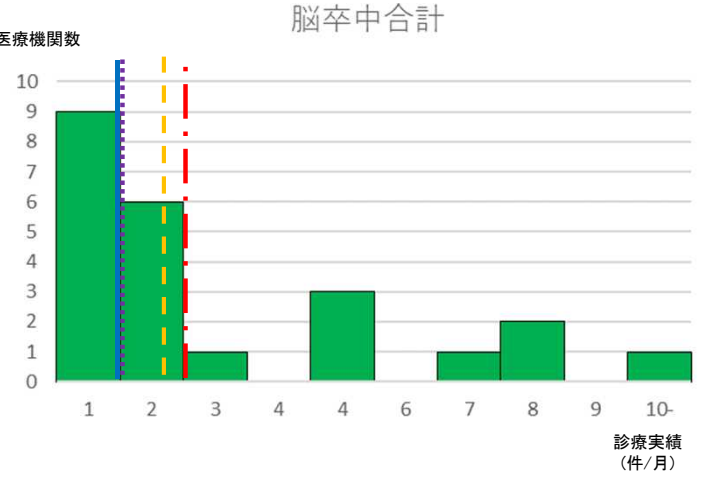
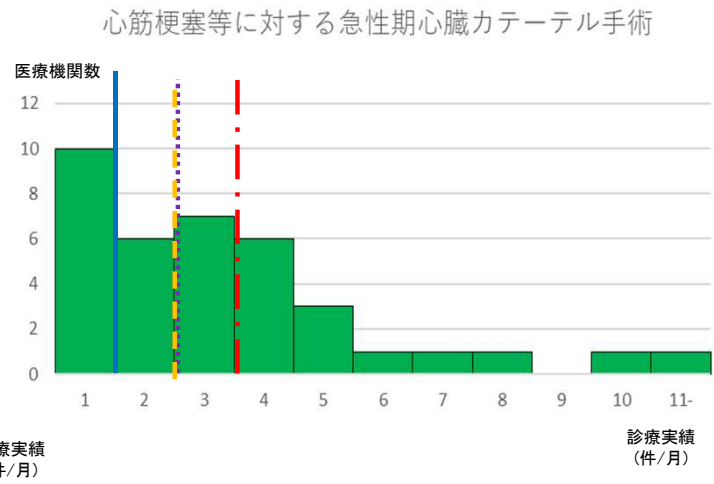
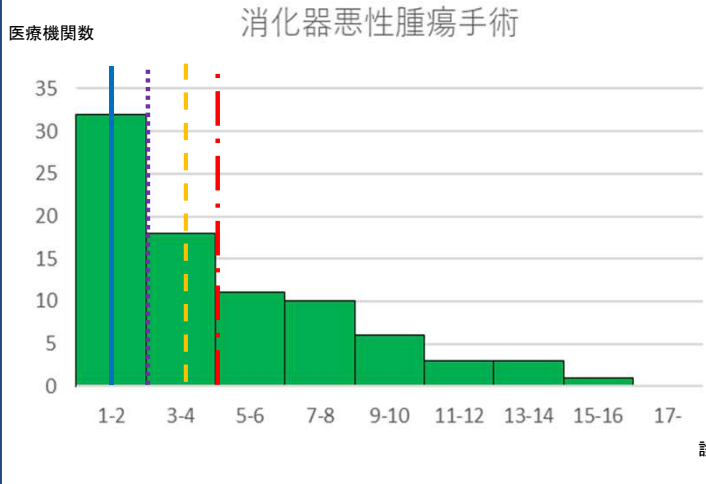
分娩件数



人口区分別の診療実績の分布⑤

精査中

人口10万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム



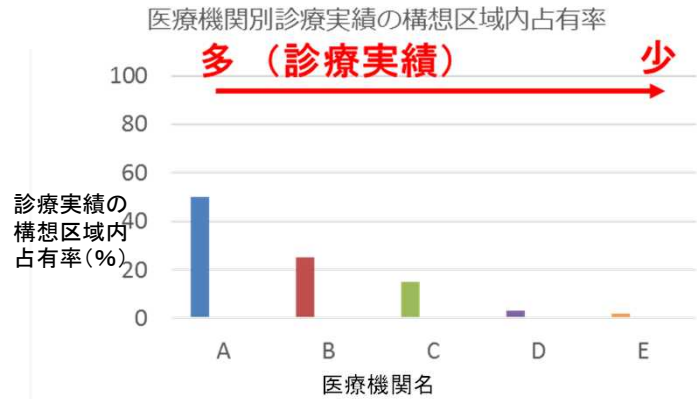
人口区分別 領域・項目ごと/医療機関ごと の診療実績の分布について

(その2:診療実績の累積占有率で表したグラフ※)

※縦軸に当該構想区域の累積占有率(シェア割合%)
横軸に診療実績が上位何%となっているかを
取ったグラフ

診療実績の累積占有率について

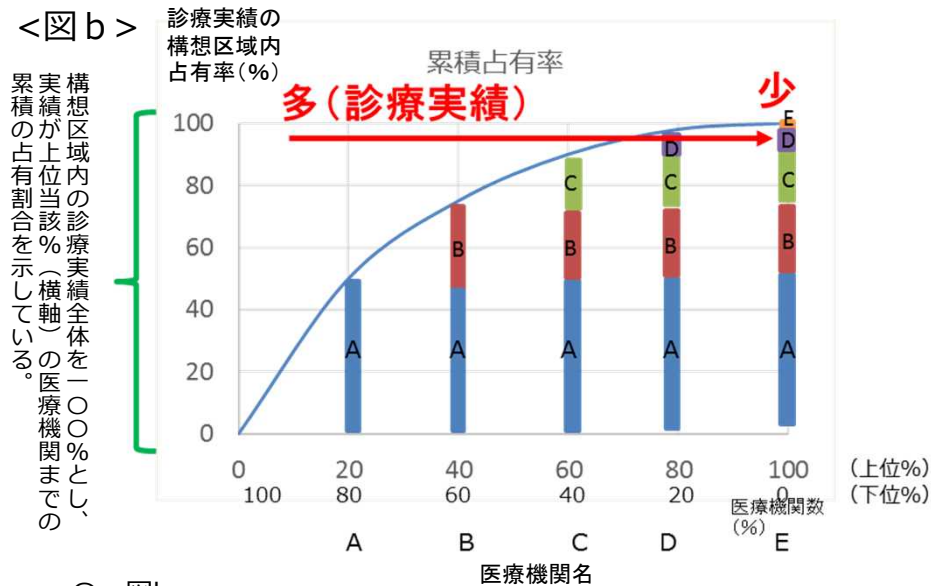
<図a>



- 図a
 - ・横軸：区域内で、診療実績が多い順に医療機関を左から並べる。
 - ・縦軸：その医療機関が構想区域内で占める実績の割合（累積占有率：%）

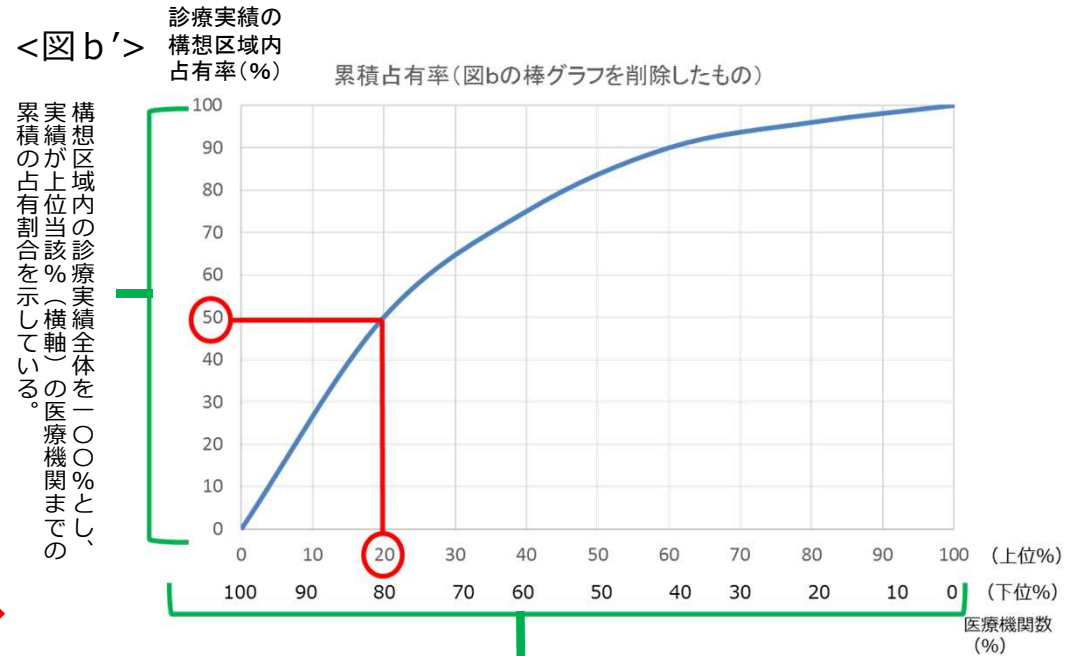


<図b>



- 図b
 - ・横軸は左から診療実績が多いほうから順に当該医療機関の順位%（上位何%か：）
 - ・縦軸は、当該医療機関までの 上位医療機関で占める構想区域内の累積占有率。

<図 b'>



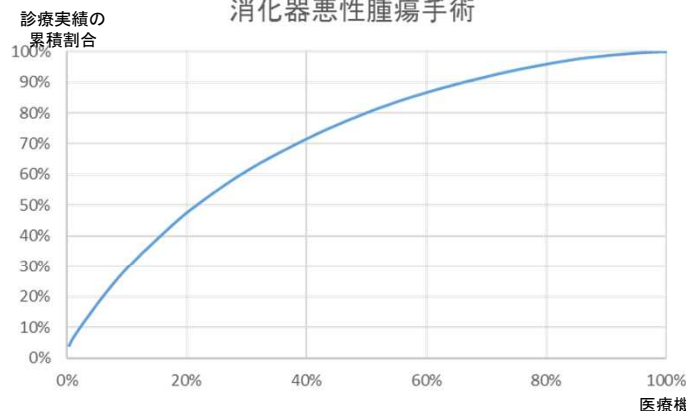
上段の目盛は、当該構想区域内で診療実績が多いほうから何%以内にあるか、
下段の目盛は、少ないほうから何%以内にあるかを示す。

構想区域内の診療実績の累積占有率と医療機関の相対順位の関係①

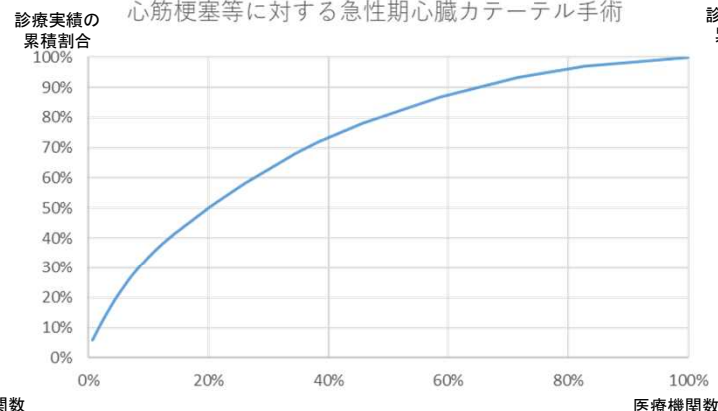
人口100万人以上の構想区域における診療実績の累積占有率と医療機関数の関係

精査中

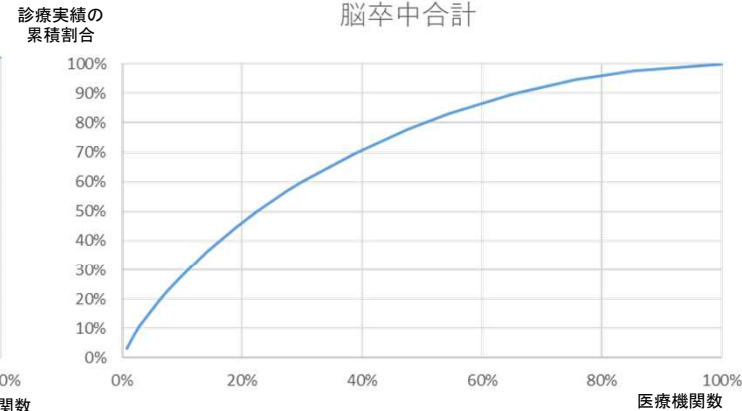
消化器悪性腫瘍手術



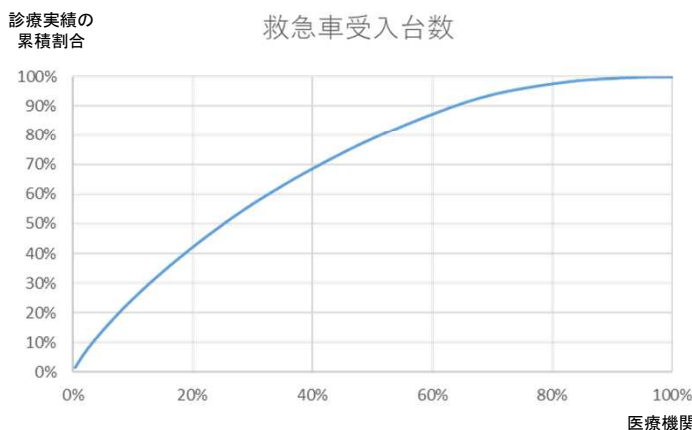
心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



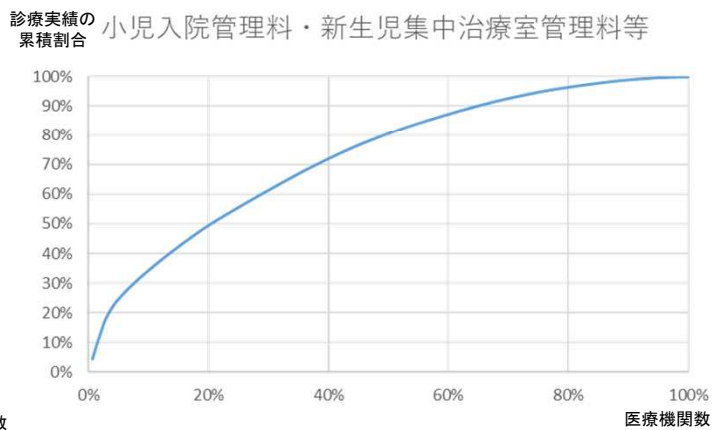
脳卒中合計



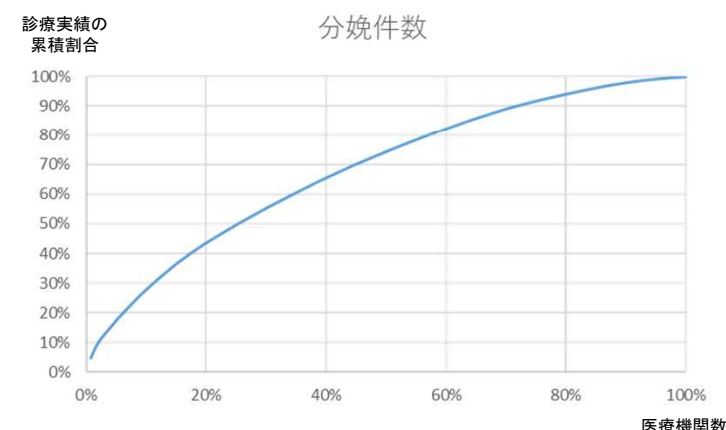
救急車受入台数



小児入院管理料・新生児集中治療室管理料等



分娩件数

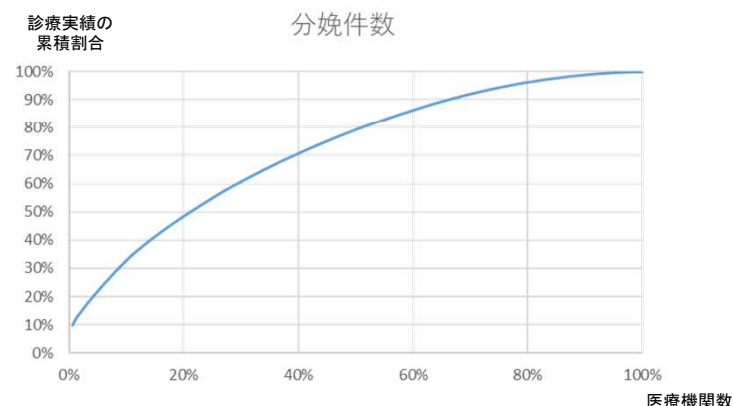
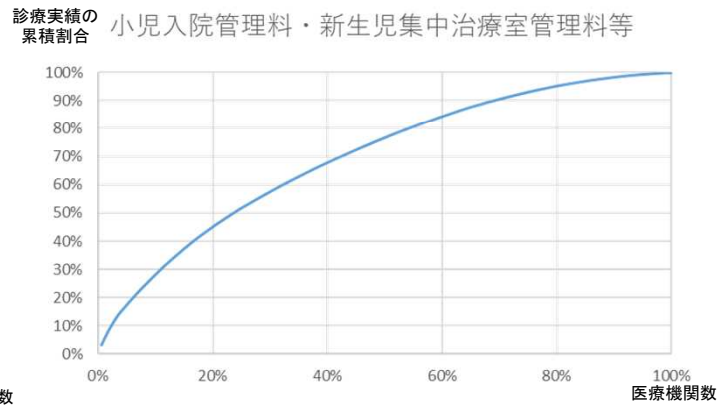
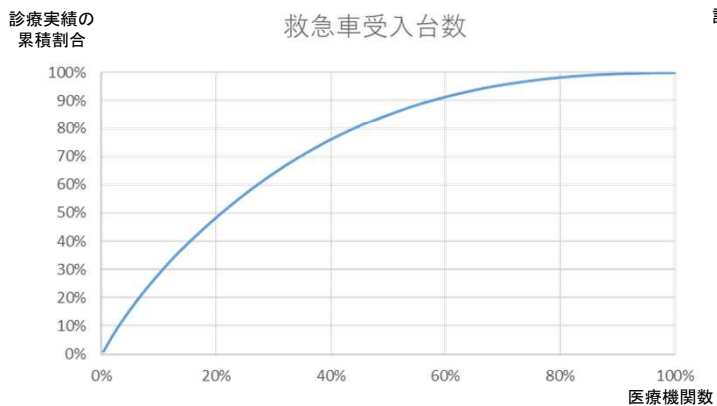
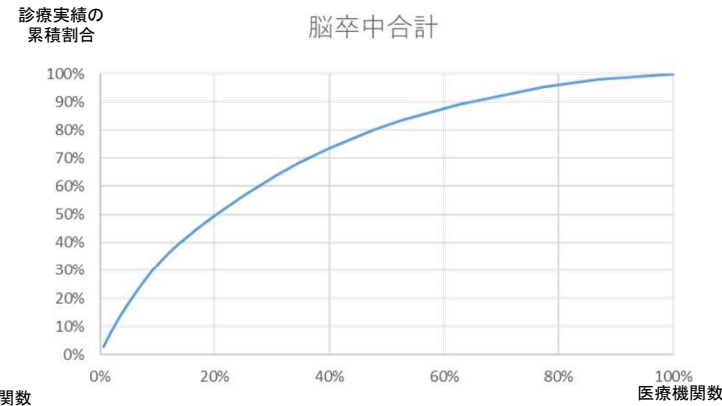
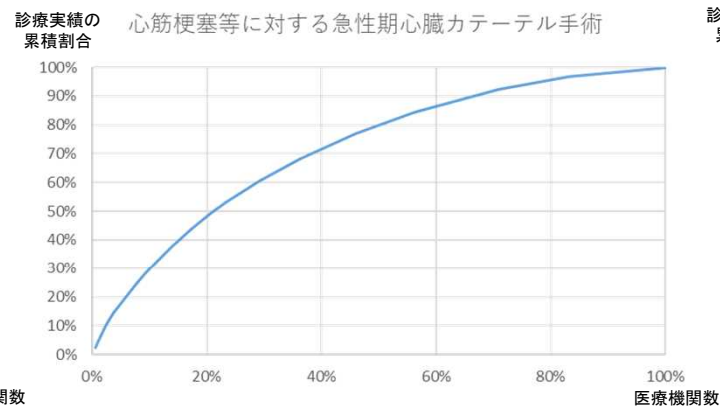
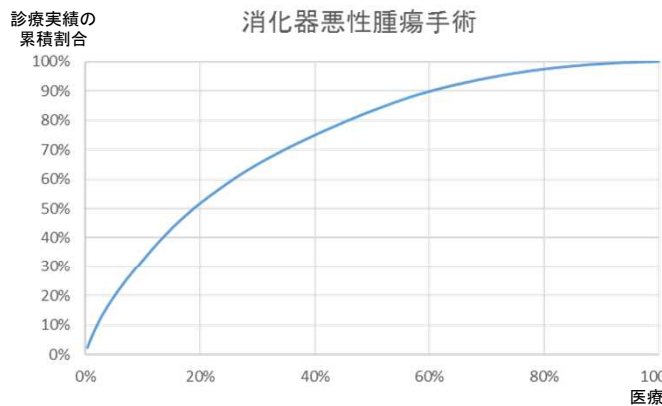


- ※ 「消化器悪性腫瘍手術」： 胃がん、大腸がん、食道がん、肝臓がん、胆嚢・胆道がん、膵臓がんに対する開腹手術・腹腔鏡手術等が含まれる。
- ※ 「脳卒中合計」： 脳動脈瘤クリッピング術、超急性期脳卒中加算、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術、経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術・経皮的脳血栓回収術、経皮的脳血管ステント留置術、頭蓋内血腫除去術、減圧開頭術等が含まれる。

構想区域内の診療実績の累積占有率と医療機関の相対順位の関係②

人口50万人以上100万人未満の構想区域における診療実績の累積占有率と医療機関数の関係

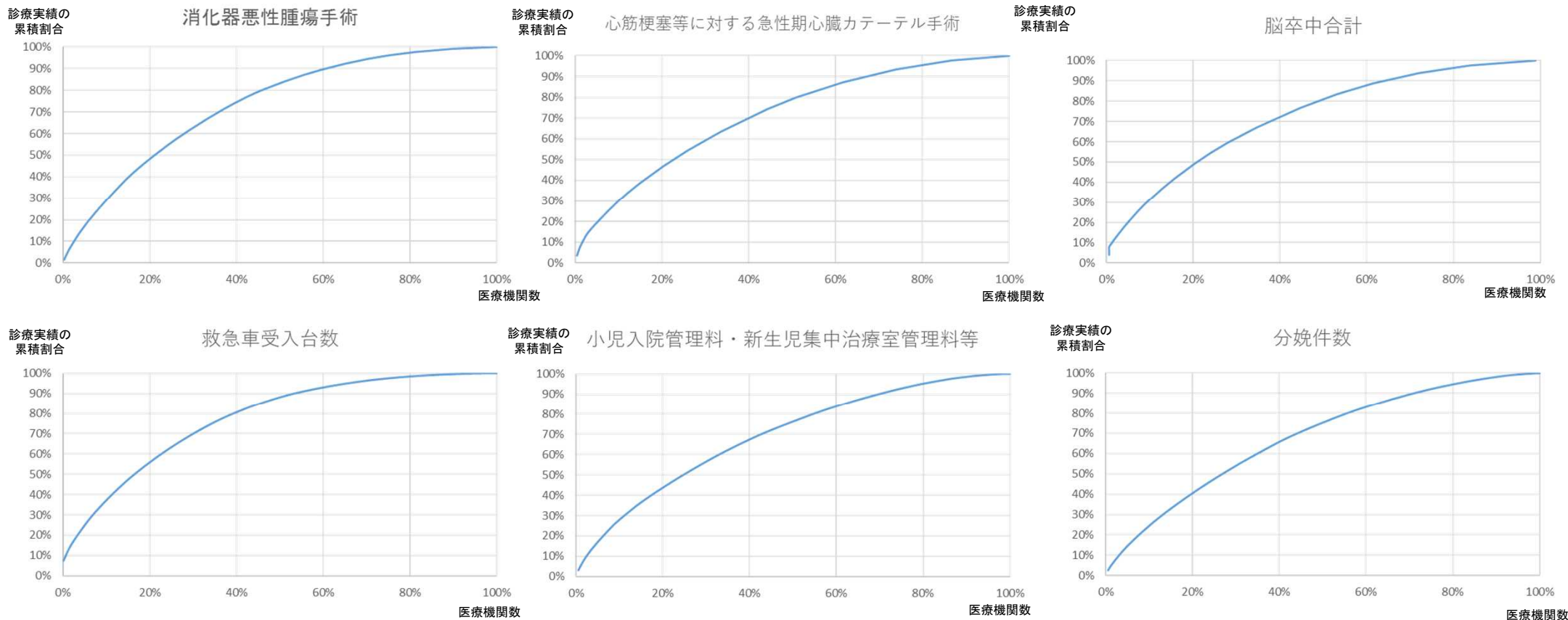
精査中



構想区域内の診療実績の累積占有率と医療機関の相対順位の関係③

人口20万人以上50万人未満の構想区域における診療実績の累積占有率と医療機関数の関係

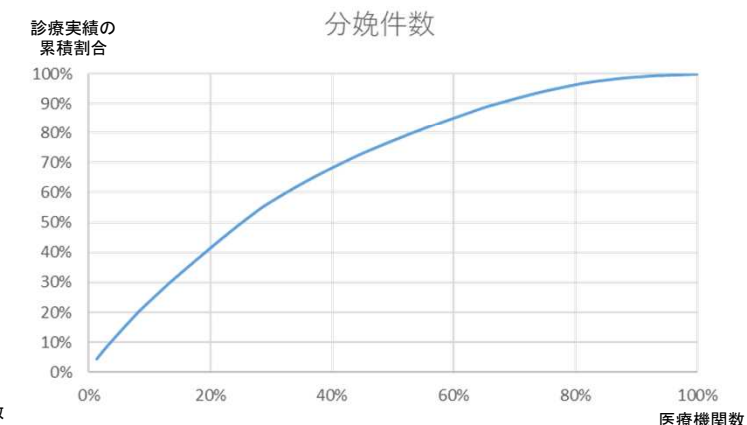
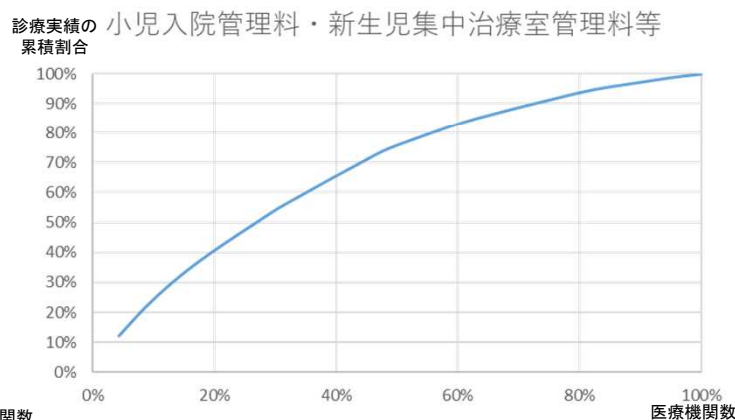
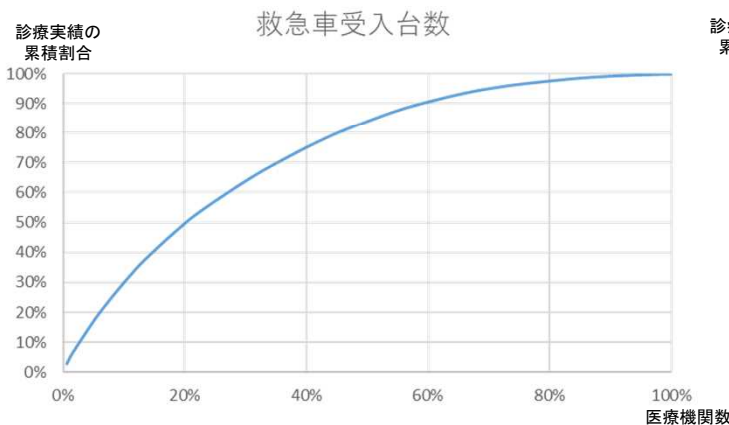
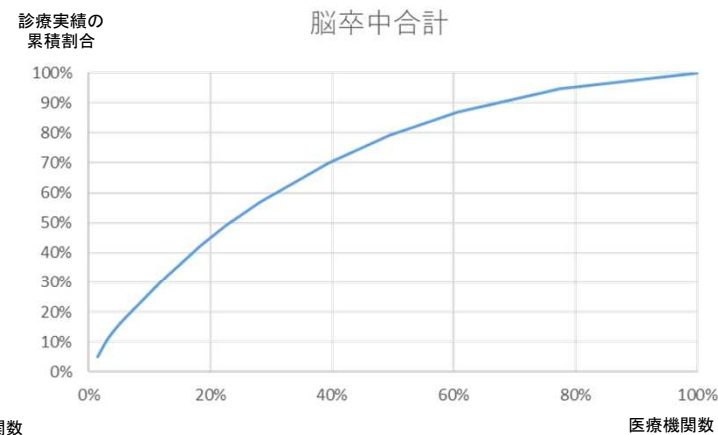
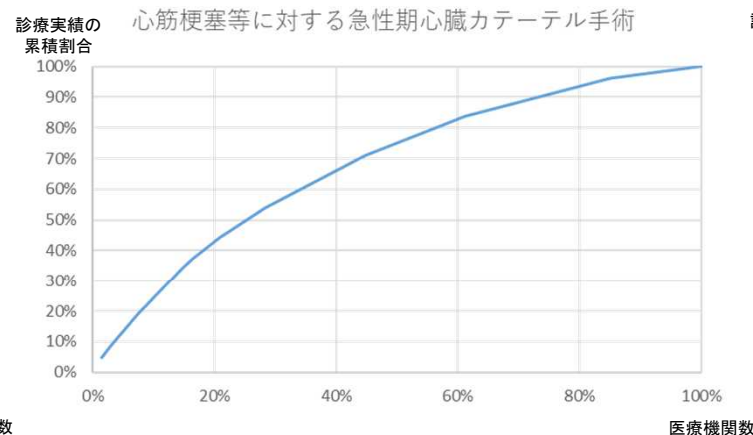
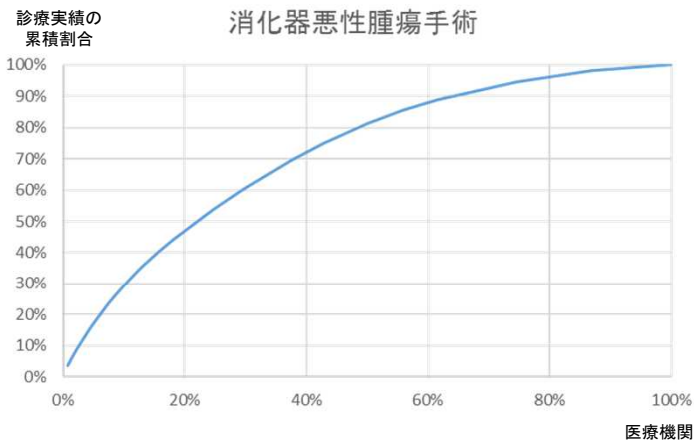
精査中



構想区域内の診療実績の累積占有率と医療機関の相対順位の関係④

人口10万人以上20万人未満の構想区域における診療実績の累積占有率と医療機関数の関係

精査中

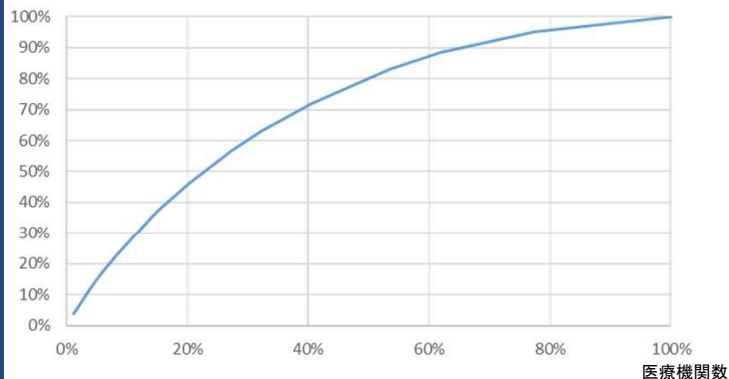


構想区域内の診療実績の累積占有率と医療機関の相対順位の関係⑤

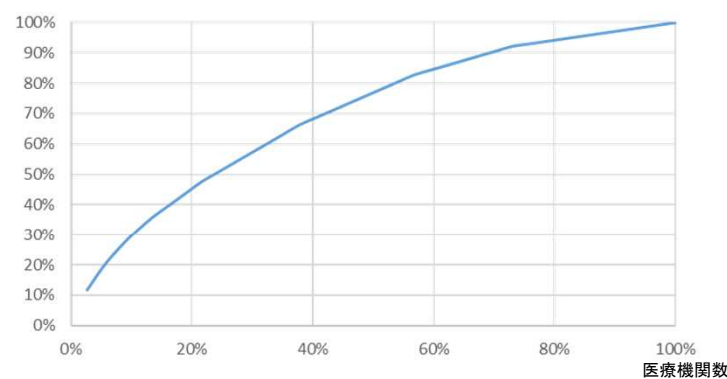
人口10万人未満の構想区域における診療実績の累積占有率と医療機関数の関係

精査中

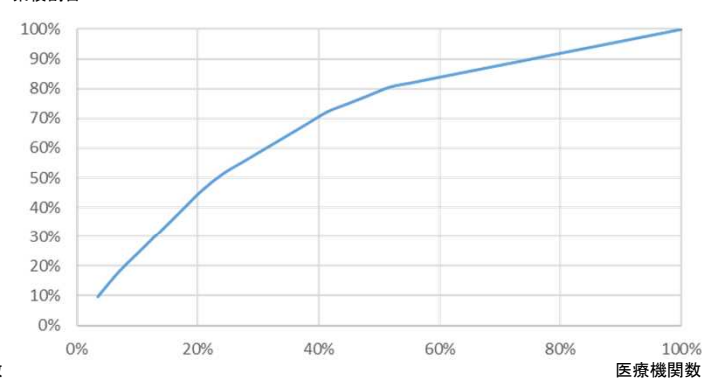
診療実績の累積割合
消化器悪性腫瘍手術



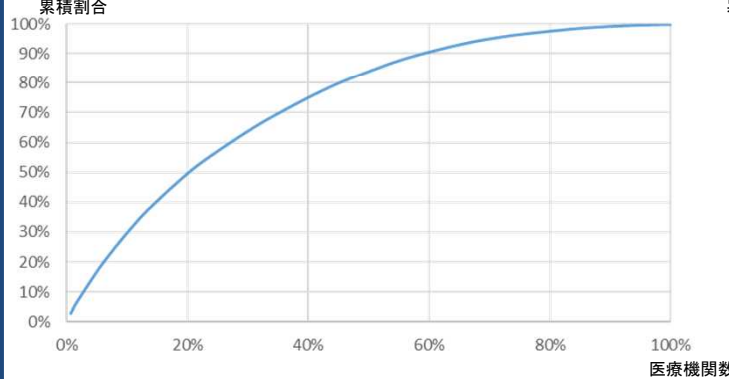
診療実績の累積割合
心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



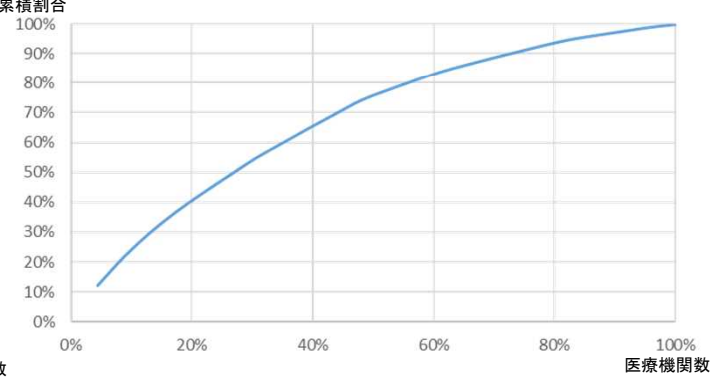
診療実績の累積割合
脳卒中合計



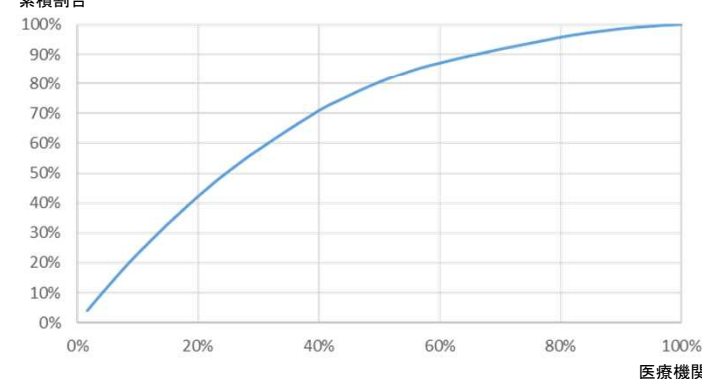
診療実績の累積割合
救急車受入台数



診療実績の累積割合
小児入院管理料・新生児集中治療室管理料等



診療実績の累積割合
分娩件数



B) 「各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している」に係る分析及びそれに基づく具体的対応方針の再検証等の要請について

「各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している」についての分析

B 「各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している」について

- ① 構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上ある
(=「類似の診療実績をもつ」とする)
- ② 「お互いの所在地が近接している」

のそれぞれについて、分析方法を次ページ以降の通り整理する。

「類似の実績」の考え方について（案）①

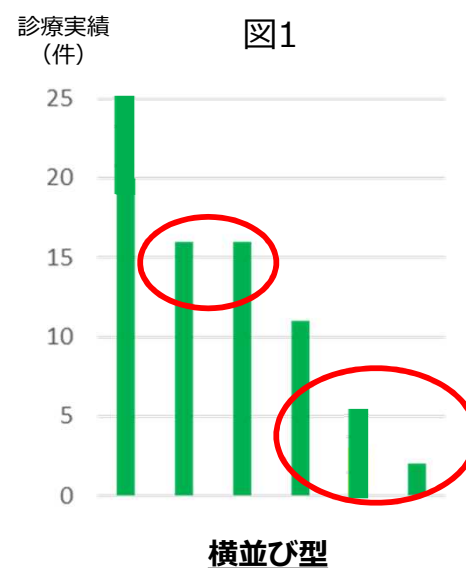
① 「類似の診療実績をもつ」の分析について

○ 「類似の診療実績をもつ」については、例えば、診療実績が分散しており、実績上位グループの中に下位と差がない公立・公的医療機関等がある場合（図1：横並び型参照）や、集約されている（単独もしくは少数の医療機関で当該診療実績の大部分を担っている）医療機関はある一方で実績上位グループ（その集約されているグループ）に入っていない公立・公的医療機関等がある場合（図2：集約型参照）があり、このような場合は、医療提供体制の効率性や医師等の配置等の課題がある可能性が想定される。

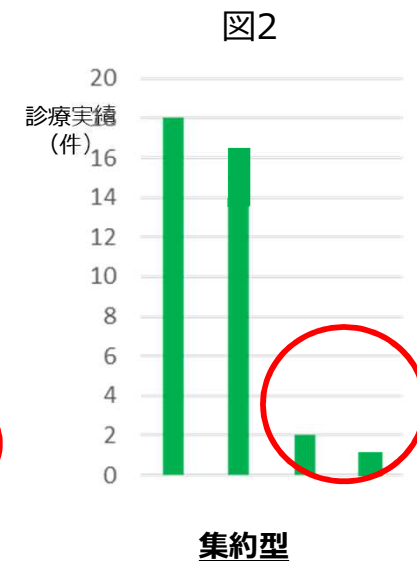
○ そのため、領域・項目ごと・構想区域ごとに、「診療実績が分散しており、実績上位グループの中に下位と差がない医療機関がある場合」（図1：横並び型）か、それ以外（集約型：図2）に構想区域を類型化し、それぞれの類型において、

- ・横並び型の場合には、実績が下位の公立・公的医療機関等および実績上位グループの中にあるが下位と差がない公立・公的医療機関等(図1の○内)
- ・集約型の場合には、実績上位グループ（その集約されているグループ）に入っていない公立・公的医療機関等（図2の○内）

を「類似の診療実績をもつ」として指摘を行ってはどうか。



実績上位グループの中に
下位と差がない医療機関がある
場合



単独もしくは少数の医療
機関が当該構想区域の診
療実績の大部分を担っ
ている場合

「類似の実績」の考え方について (案) ②

〔構想区域の類型化の手順〕

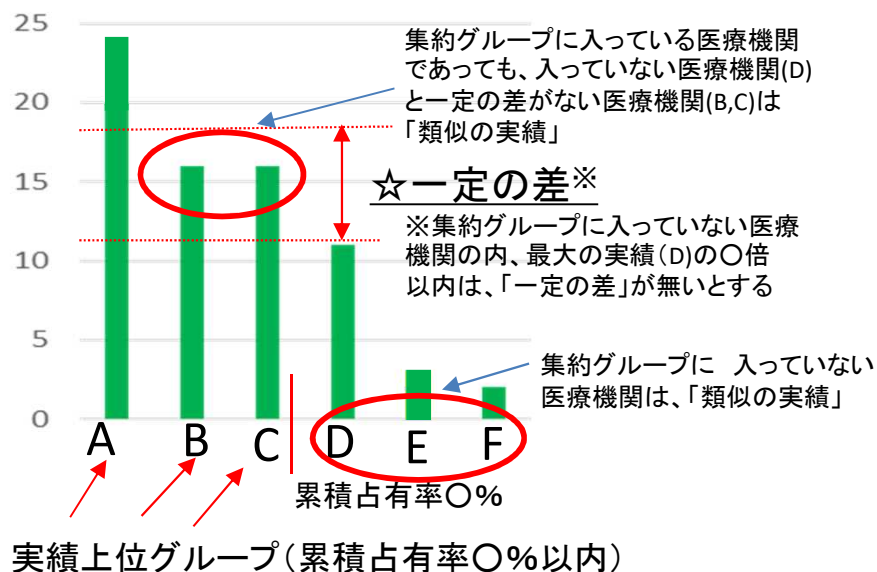
- ① 診療実績が上位〇% (累積占有率〇%) 以内に入っている医療機関を実績上位グループとする。
- ② 実績上位グループの中で占有率が最低位の医療機関の実績と、実績下位グループのうち占有率が最高位である医療機関の実績とを比較し、差がない場合を「横並び型」、それ以外を「集約型」とする。

横並び型における「類似の実績」の基本的考え方:

- ① 実績上位グループに入っていない医療機関(D,F)については、「類似の実績」と考える。
- ② 実績グループに入っている医療機関であっても、入っていない医療機関と「一定の差」がない医療機関(B,C)は「類似の実績」とする。
この場合の「一定の差」については、集約グループに入っていない医療機関のうち、最大の実績(D)の〇倍以内であるか否かによって判断する。

横並び型

実績上位グループの中に
下位と差がない医療機関がある場合

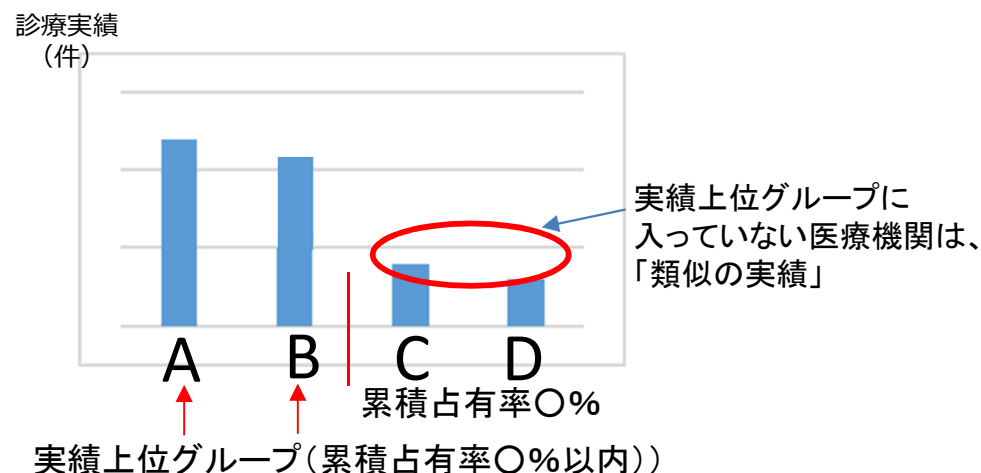


集約型における「類似の実績」の基本的考え方:

実績上位グループに入っていない医療機関(B,C,D)については、「類似の実績」と考える。

集約型

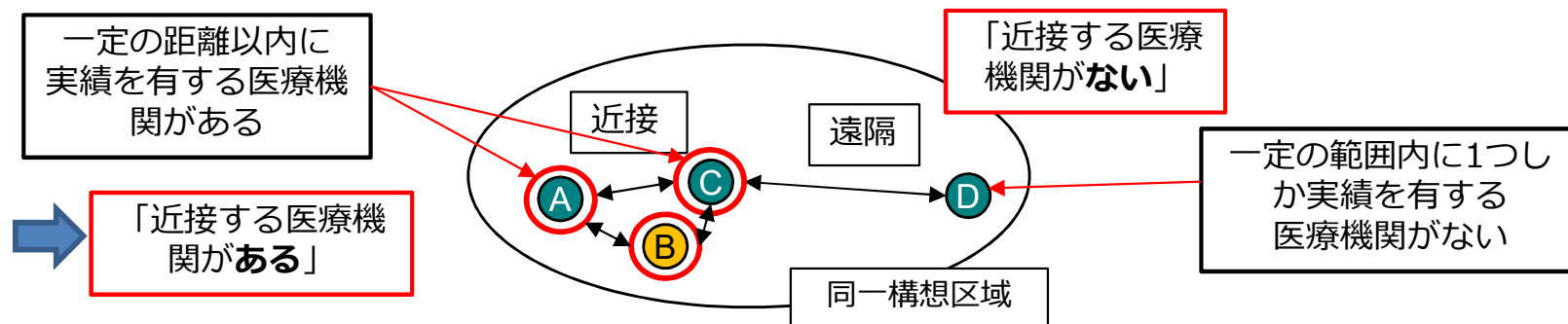
単独もしくは少数の医療機関が当該構想区域の診療実績の大部分を担っている場合



所在地が近接していることについての分析

② 「お互いの所在地が近接している」の分析について（その1）

- 各領域・分析項目について、ある医療機関から見た際に、一定の距離内に診療実績を有する※1他の医療機関がない場合は、「近接している医療機関がない」と考えることとする。（逆の場合を「近接する医療機関がある」とする。）
- この際、距離の検討にあたっては、公共交通機関の状況が各構想区域で異なることや、夜間や救急搬送の所要時間を考慮する観点から、自動車での移動時間※2を用いてはどうか。



※1 「診療実績が特に少ない」医療機関の場合を除く

※2 近接しているかどうかを判断する目安としては、例えば20分以内や30分以内等としてはどうか

領域・項目の取扱について

- 診療実績のデータ分析等については、分析項目ごとに実施するが、領域ごとに分析項目の数や性質が異なるため、分析項目数のみに応じた評価を行う場合、領域間で必ずしも考え方や項目ごとの重みづけが一致しないと考えられる。（例えば、分析項目数で一定の基準を設ける場合、がん領域の複数の項目で実績が多い病院の方が、他の領域の実績が多い病院よりも有利になる等）
- そのため、領域ごとに分析結果を集約し、領域ごとに「診療実績が特に少ない」や「類似の診療実績」かどうかを判断した上で、結果を集約し、「多数の領域で『診療実績が特に少ない』」や「多数の領域で『類似かつ近接』」を判断することとしてはどうか。

領域及び分析項目（具体的対応方針の検証に向けた議論の整理（たたき台）より抜粋）

【領域】	【分析項目】
【がん】	(手術) 肺・呼吸器 消化器(消化管/肝胆膵) 乳腺 泌尿器/生殖器 (その他) 化学療法* 放射線療法
【心筋梗塞等の心血管疾患】	心筋梗塞 外科手術が必要な心疾患
【脳卒中】	脳梗塞 脳出血(くも膜下出血を含む)
【救急医療】	救急搬送等の医療 大腿骨骨折等
【小児医療】	/
【周産期医療】	
【災害医療】	
【へき地医療】	
【研修・派遣機能】	

* 化学療法については、病床機能報告では、入院で実施されるもののみが報告されている。一方で、現在、化学療法は、外来で実施されることが増加している。そのため、病床機能報告のみで化学療法の診療実績のデータ分析を行うことは、不適當ではないかと考えられるため、診療実績の分析対象とはしないこととする。 23

A 診療実績が特に少ない

多数の領域※で、「診療実績が特に少ない」とされた公立・公的医療機関等については、該当する病院に具体的対応方針の再検証を要請することとしてはどうか。この際、人口区分に関わらず、当該要請を行うこととする。

※ 例：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣機能の9領域全てで「特に診療実績が少ない」とされた場合。

B 類似の実績かつ近接

B-1. 医療機関の再検証の要請について

医療機関単位で、領域・項目ごとに、「類似の診療実績をもつ」とされたものでかつ「近接する医療機関がある」とされたものについて、「類似の実績かつ近接」とする。さらに、多数の領域※¹で「類似の実績かつ近接」※²とされた公立・公的医療機関等については、当該医療機関の具体的対応方針の再検証を要請する。

※¹ 例：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6領域全てで「類似の実績かつ近接」とされた場合。

※² 「診療実績が特に少ない」、「診療実績がない」とされた領域・項目数も含めて合計する。

B-2. 構想区域単位の検証について

構想区域内にある公立・公的医療機関等の役割分担の検討が必要であるため、B-1. で要請を受けた医療機関が所在する構想区域について、当該区域内の医療提供体制について協議することを要請する。

人口が100万人以上の構想区域における「類似の実績かつ近接」の分析結果に基づく再検証の要請について

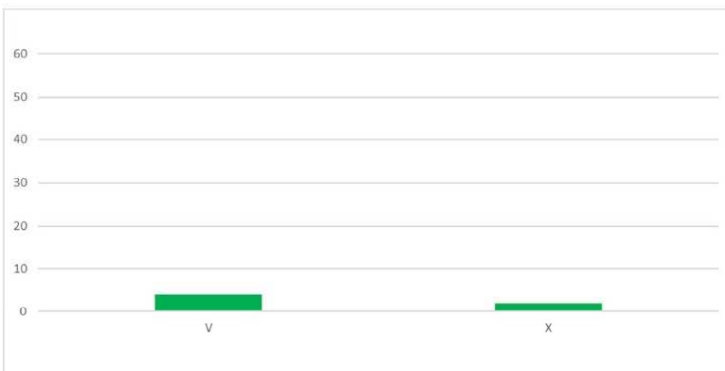
(対応案)

人口100万人以上の構想区域については、医療提供体制や競合状況等の状況が複雑であり、これまでの「類似の実績」や「近接」に関する考え方に加えて更なる検討が必要と考えられるため、現時点では、多数の領域で「類似の実績かつ近接」となる医療機関への再検証の要請は行わず、引き続き、考え方の整理を行う。

(参考) 医療機関ごとの各領域・項目の
診療実績の状況の例

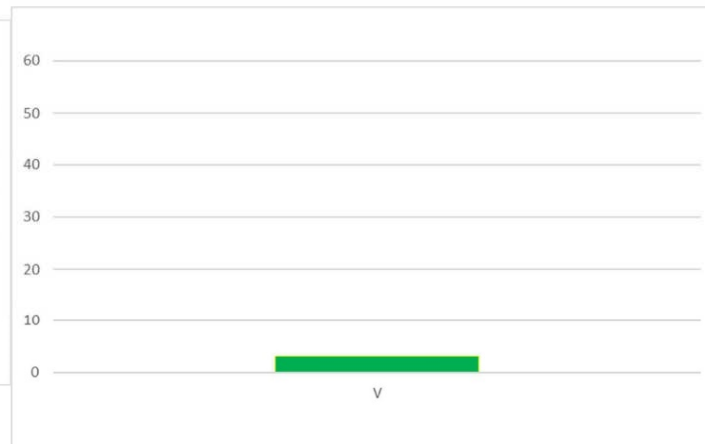
人口10万人以下① 消化器悪性腫瘍手術

構想区域 イ



人口10万人以下① 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

構想区域 イ



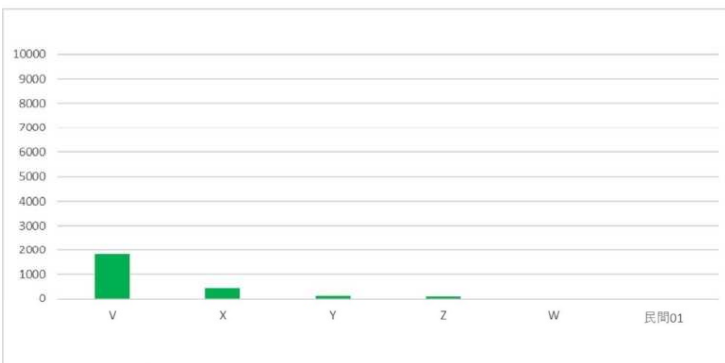
人口10万人以下① 脳動脈瘤クリッピング術

構想区域 イ



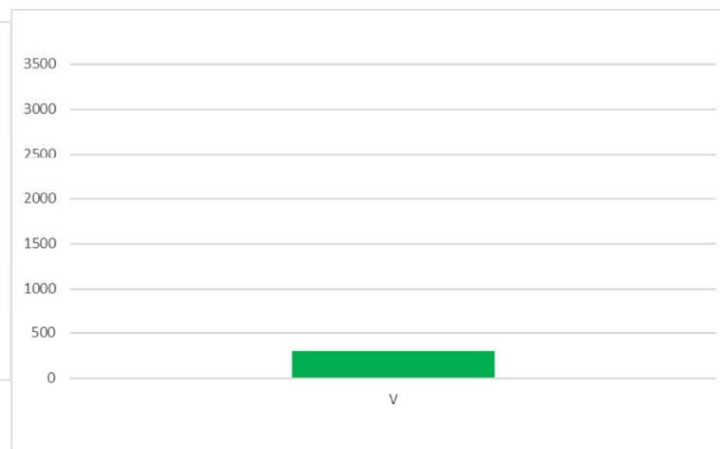
人口10万人以下① 救急車の受入台数

構想区域 イ



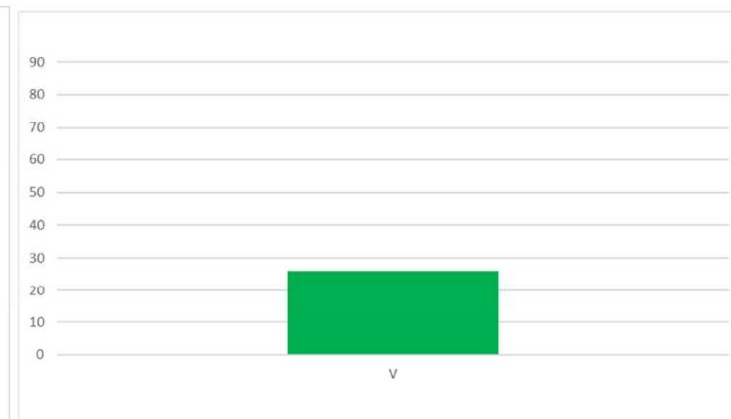
人口10万人以下① 小児入院医療管理料

構想区域 イ



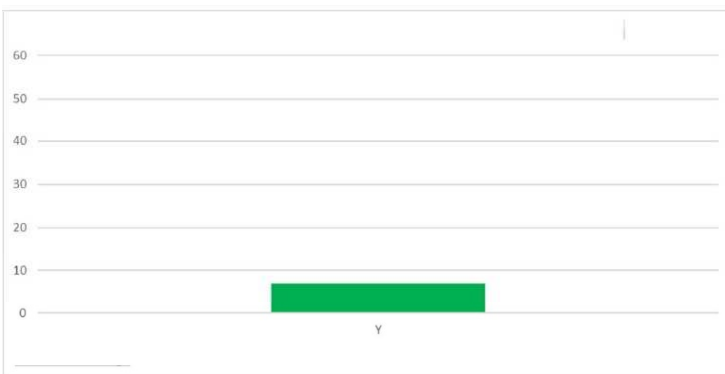
人口10万人以下① 分娩

構想区域 イ



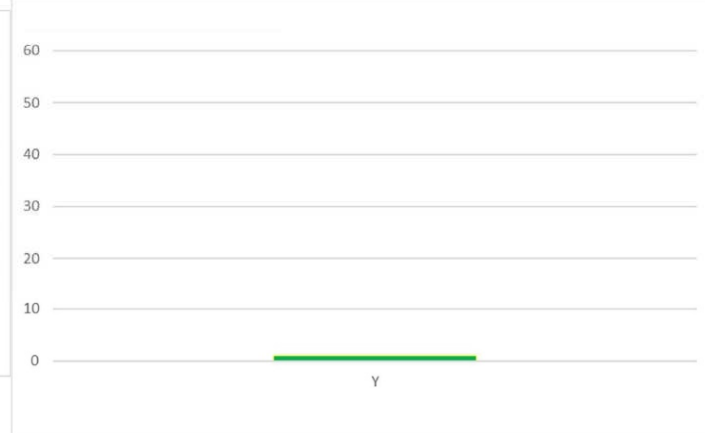
人口10万人以下② 消化器悪性腫瘍手術

構想区域 □



人口10万人以下② 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

構想区域 □



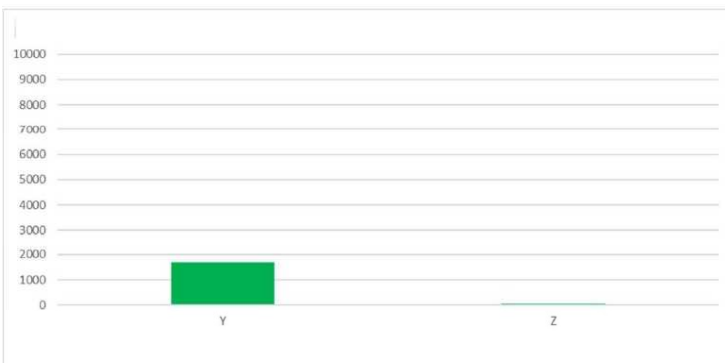
人口10万人以下② 脳動脈瘤クリッピング術

構想区域 □



人口10万人以下② 救急車の受入台数

構想区域 □



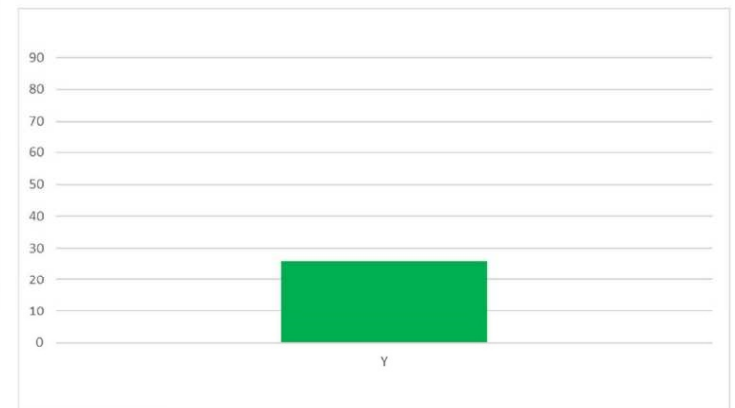
人口10万人以下② 小児入院医療管理料

構想区域 □

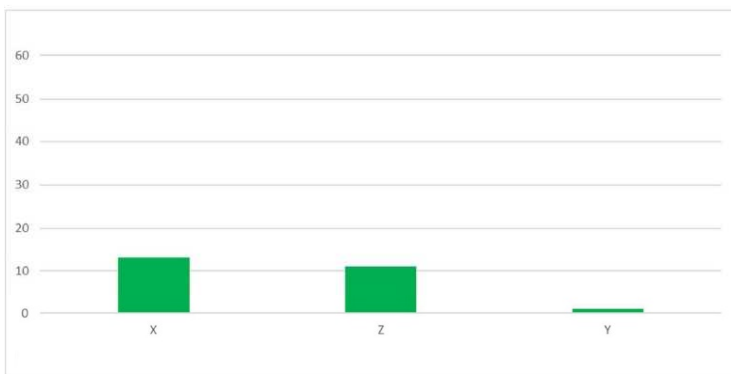


人口10万人以下② 分娩

構想区域 □



人口10万人以下③ 消化器悪性腫瘍手術



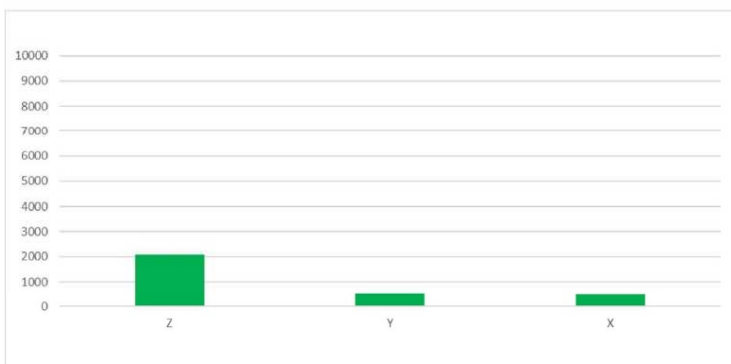
人口10万人以下③ 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



人口10万人以下③ 脳動脈瘤クリッピング術



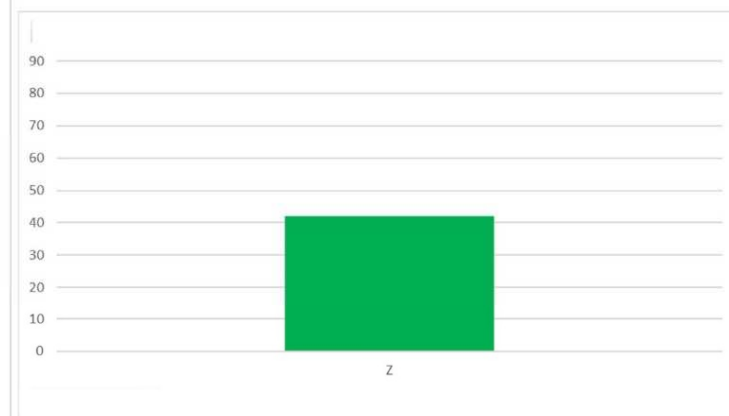
人口10万人以下② 救急車の受入台数



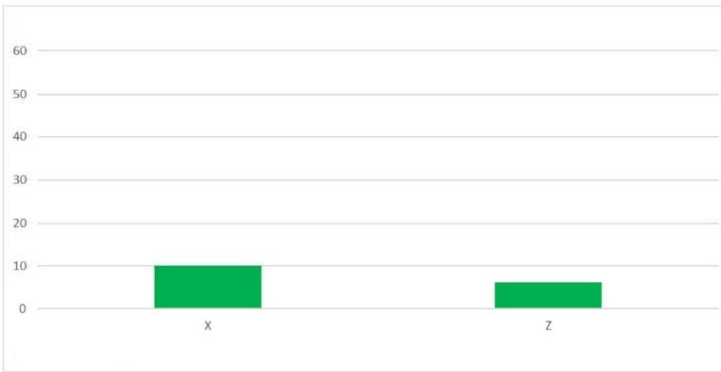
人口10万人以下③ 小児入院医療管理料



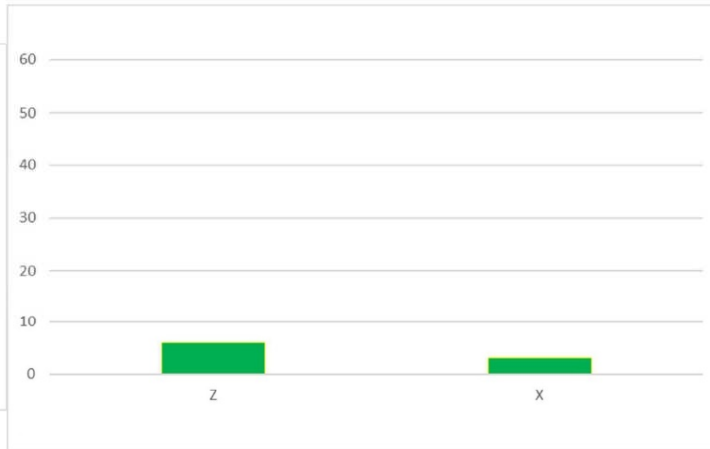
人口10万人以下③ 分娩



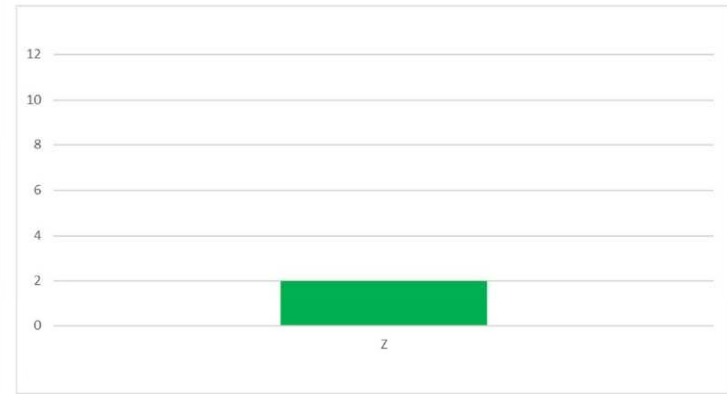
人口10～20万人① 消化器悪性腫瘍手術



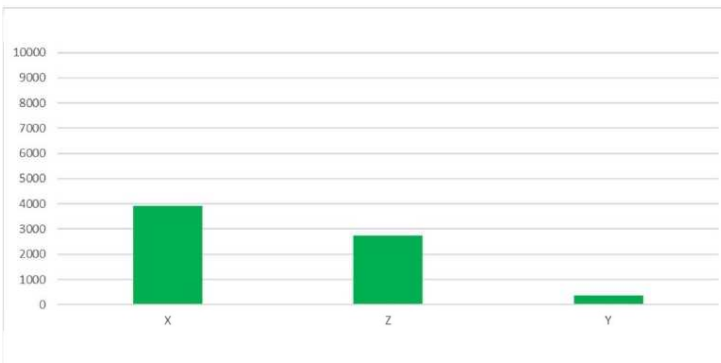
人口10～20万人① 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



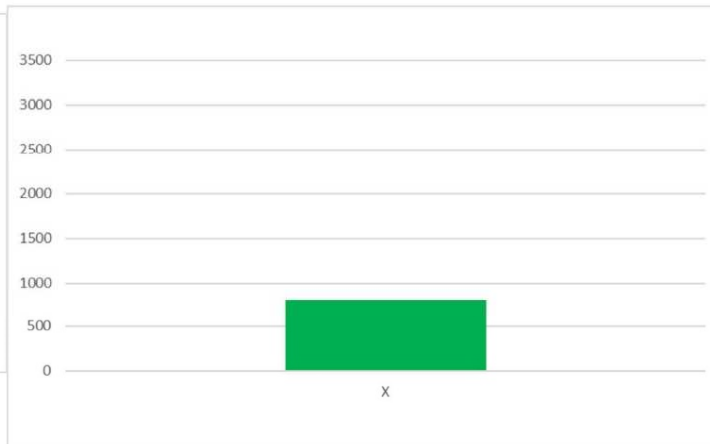
人口10～20万人① 脳動脈瘤クリッピング術



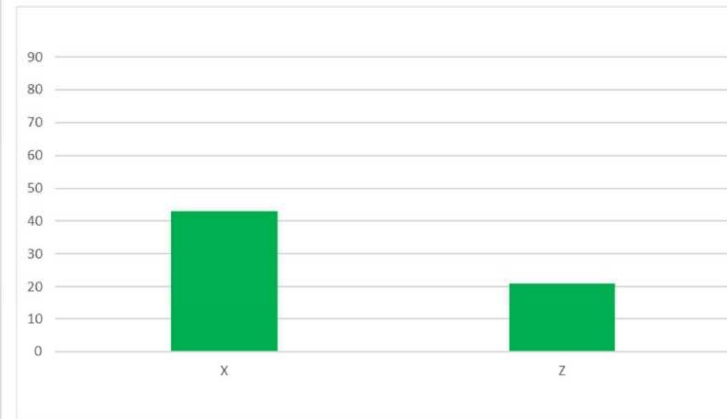
人口10～20万人① 救急車の受入台数



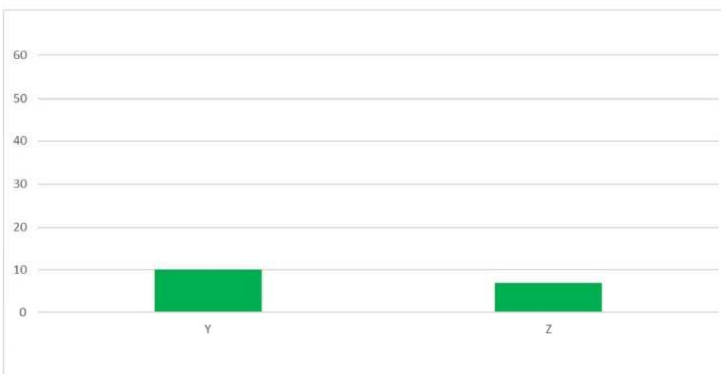
人口10～20万人① 小児入院医療管理料



人口10～20万人① 分娩



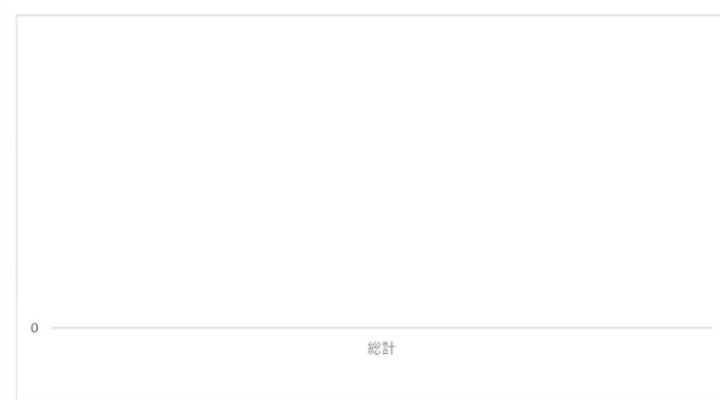
人口10～20万人② 消化器悪性腫瘍手術



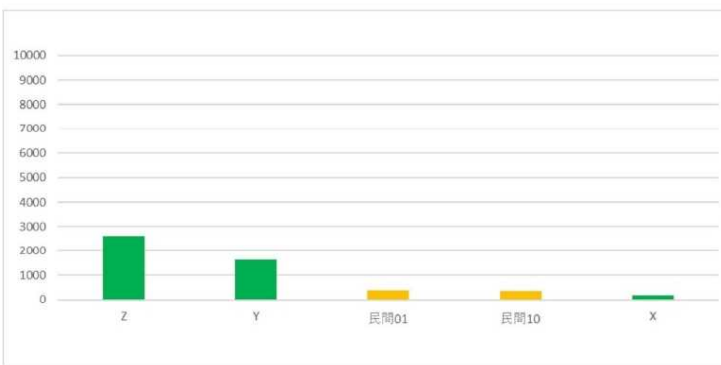
人口10～20万人② 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



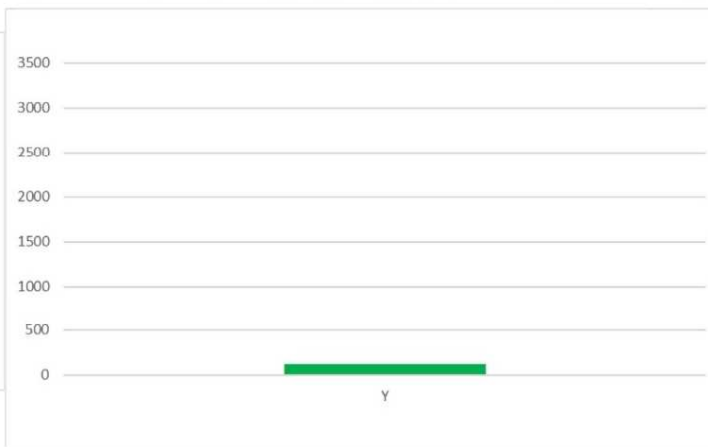
人口10～20万人② 脳動脈瘤クリッピング術



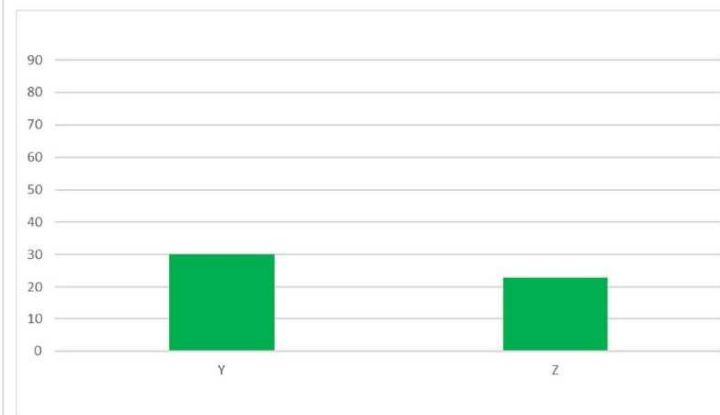
人口10～20万人② 救急車の受入台数



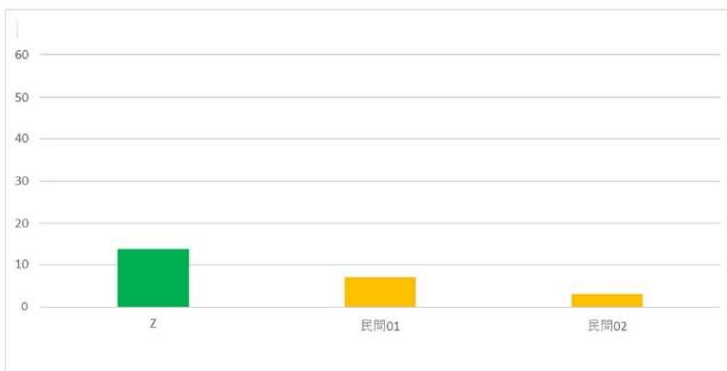
人口10～20万人② 小児入院医療管理料



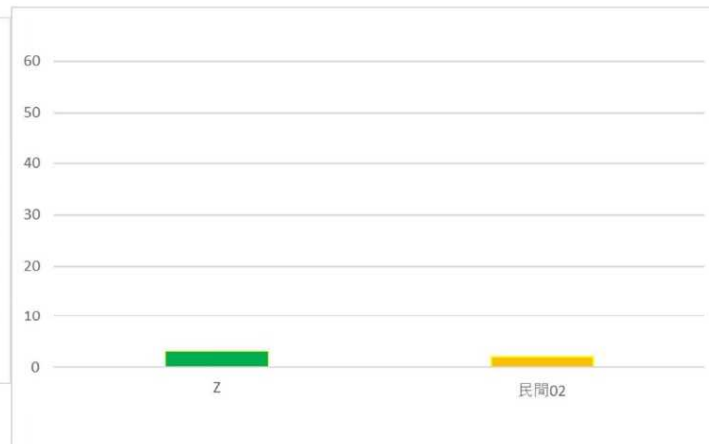
人口10～20万人② 分娩



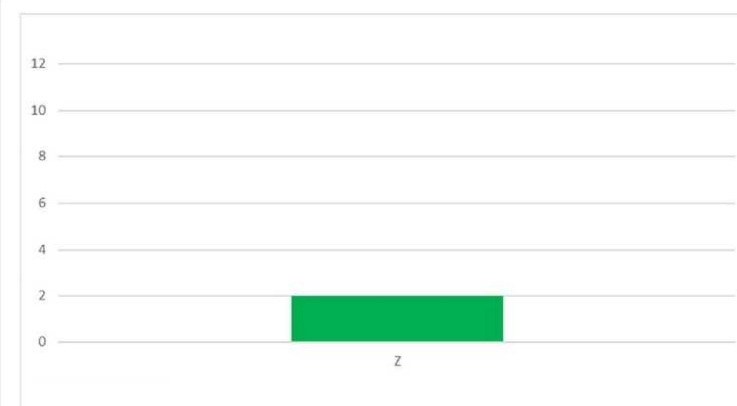
人口10～20万人③ 消化器悪性腫瘍手術



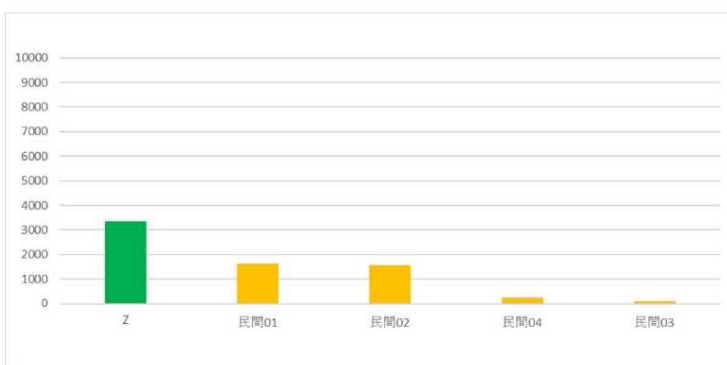
人口10～20万人③ 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



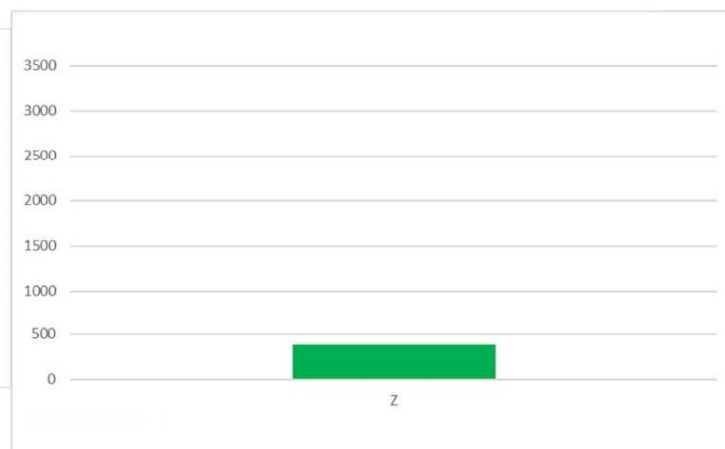
人口10～20万人③ 脳動脈瘤クリッピング術



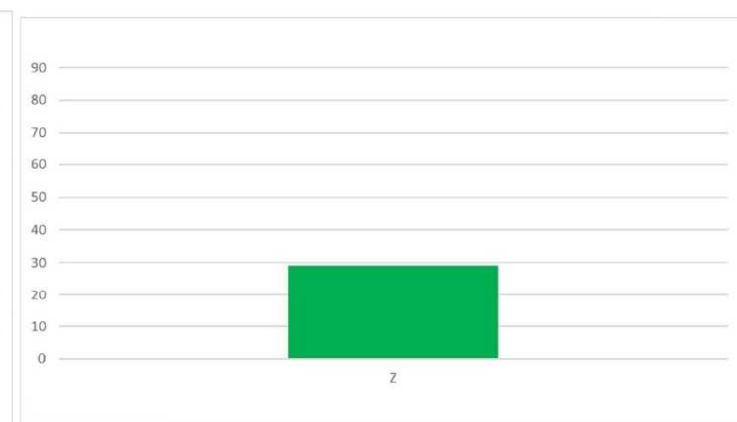
人口10～20万人③ 救急車の受入台数



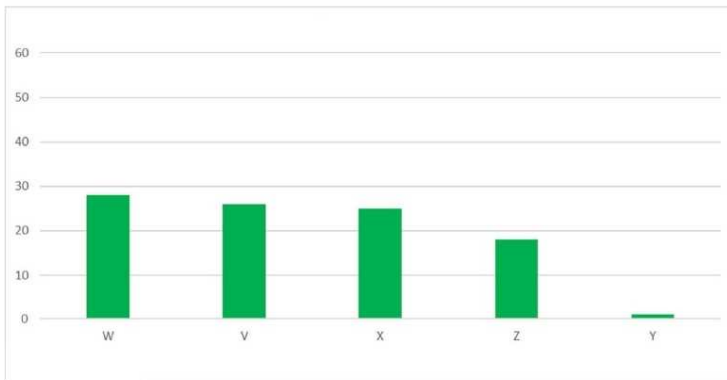
人口10～20万人③ 小児入院医療管理料



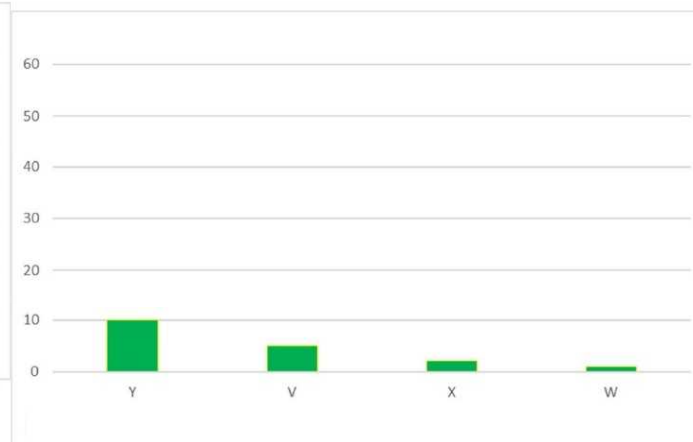
人口10～20万人③ 分娩



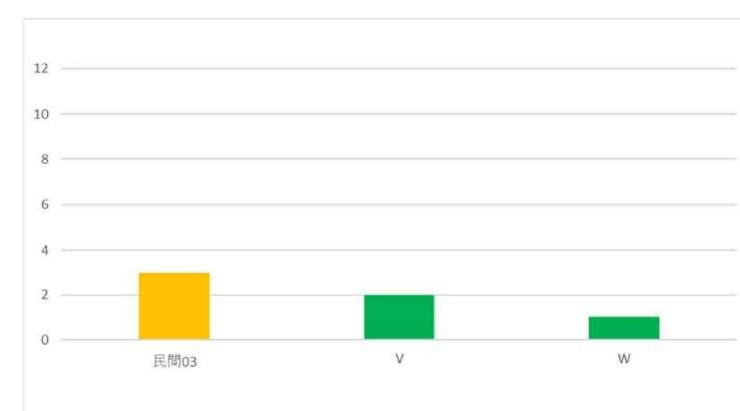
人口20～50万人① 消化器悪性腫瘍手術



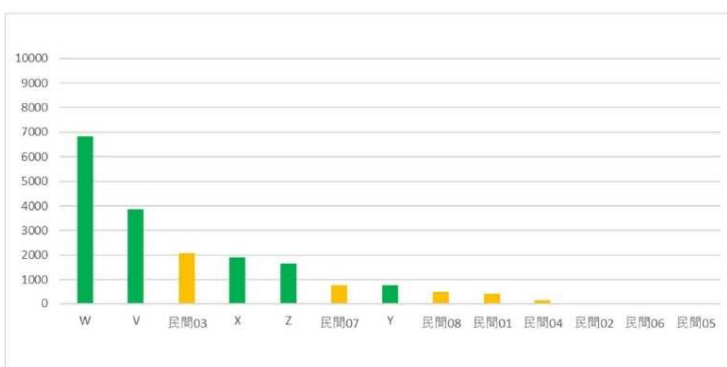
人口20～50万人① 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



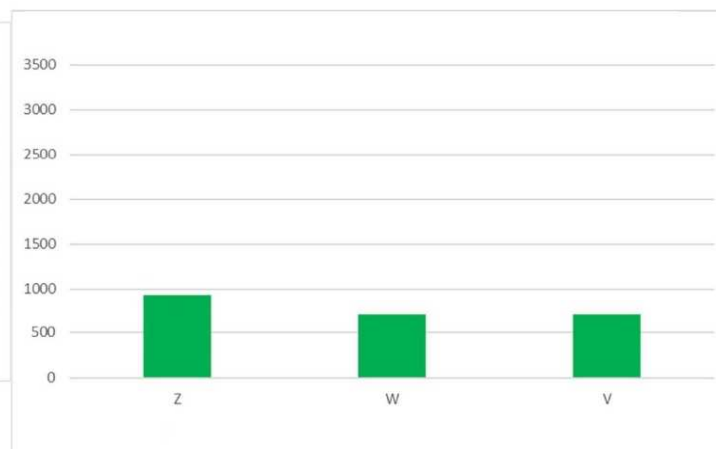
人口20～50万人① 脳動脈瘤クリッピング術



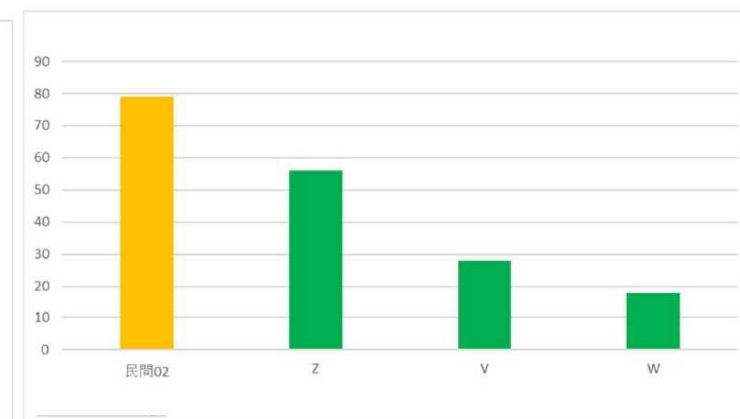
人口20～50万人① 救急車の受入台数



人口20～50万人① 小児入院医療管理料



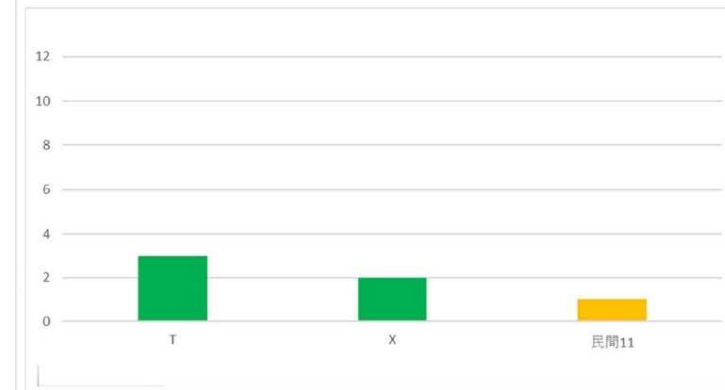
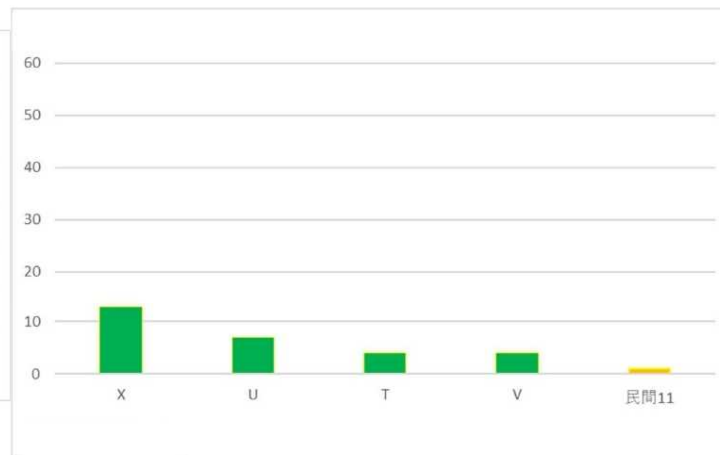
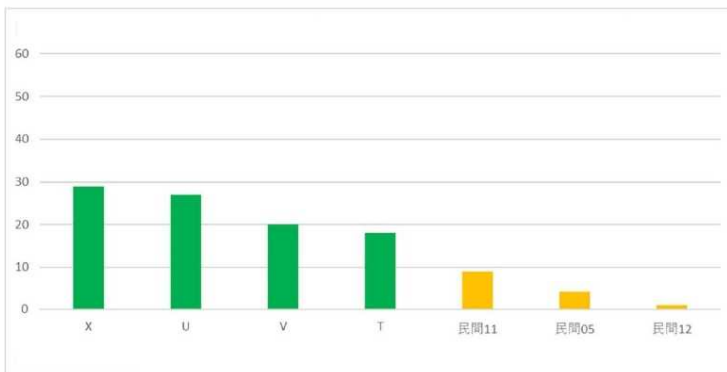
人口20～50万人① 分娩



人口20～50万人② 消化器悪性腫瘍手術

人口20～50万人② 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

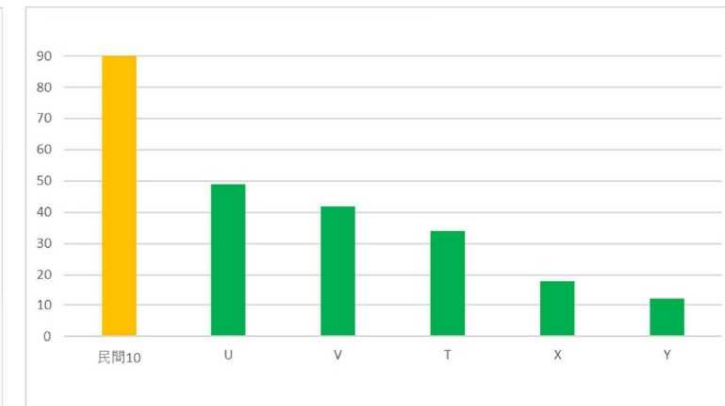
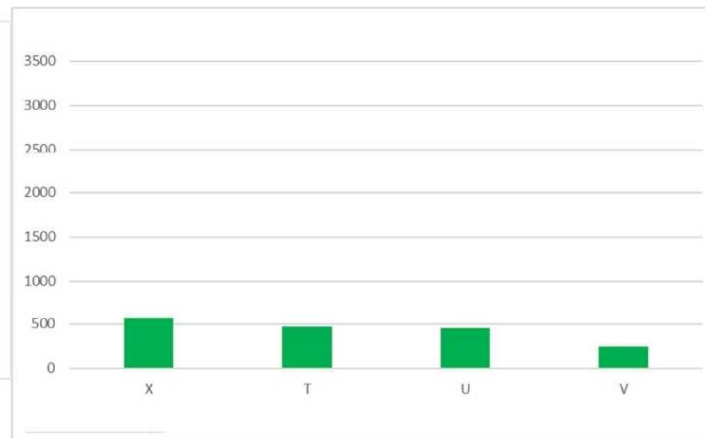
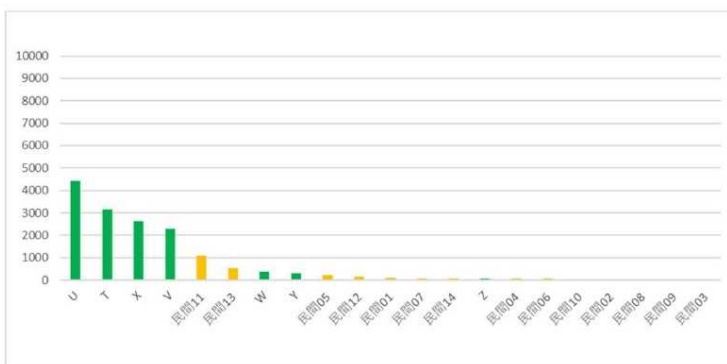
人口20～50万人② 脳動脈瘤クリッピング術



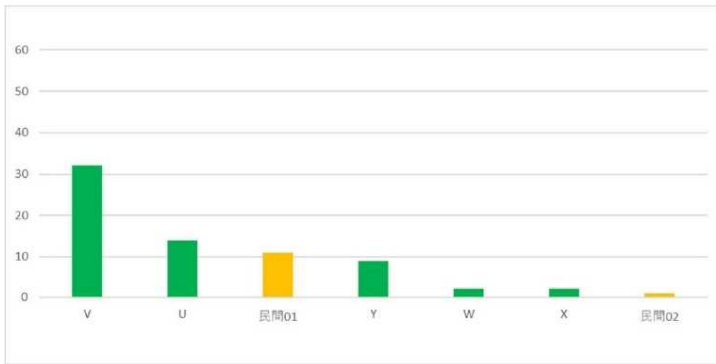
人口20～50万人② 救急車の受入台数

人口20～50万人② 小児入院医療管理料

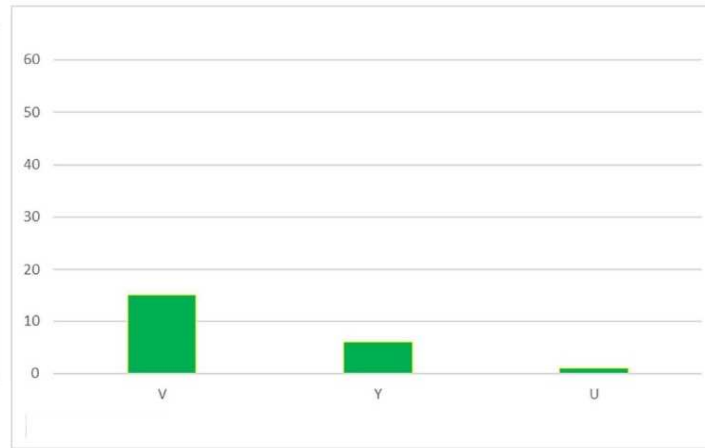
人口20～50万人② 分娩



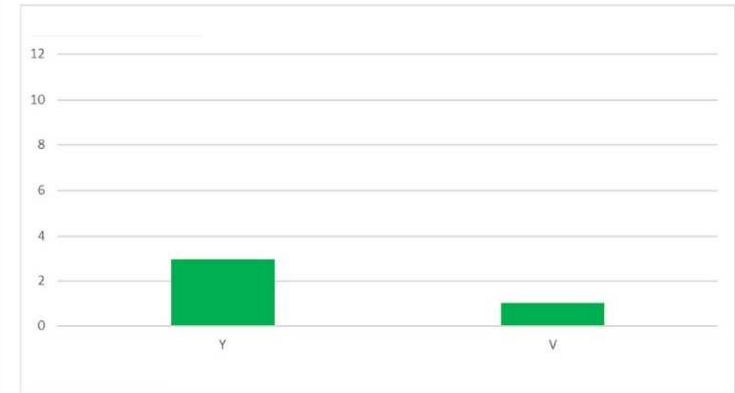
人口20～50万人③ 消化器悪性腫瘍手術



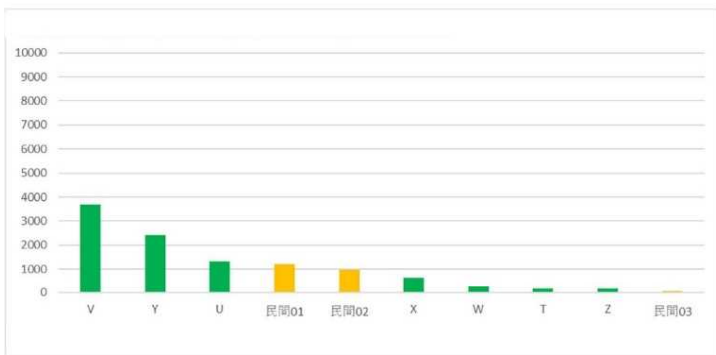
人口20～50万人③ 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



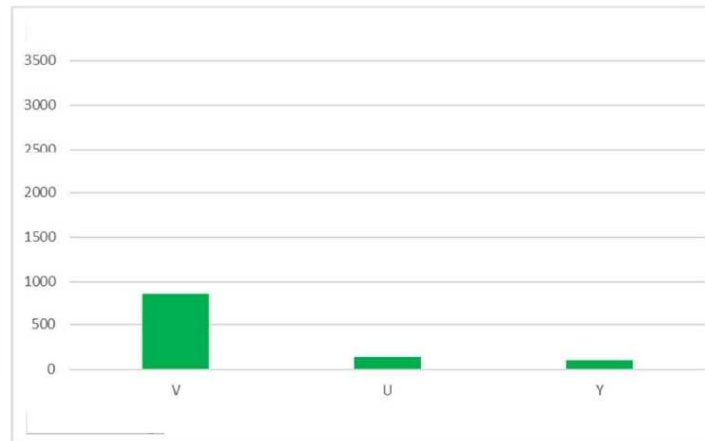
人口20～50万人③ 脳動脈瘤クリッピング術



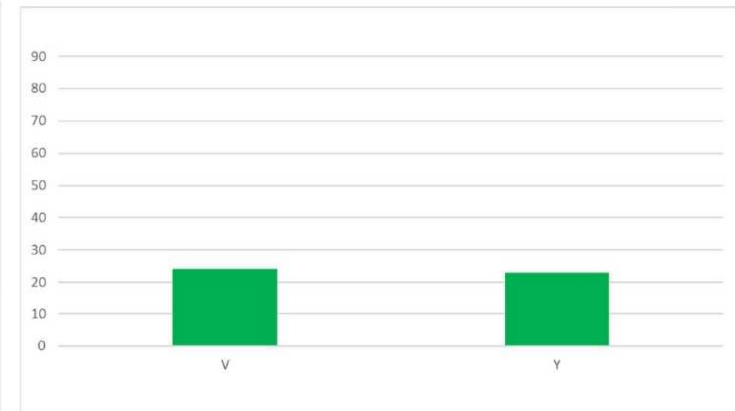
人口20～50万人③ 救急車の受入台数



人口20～50万人③ 小児入院医療管理料



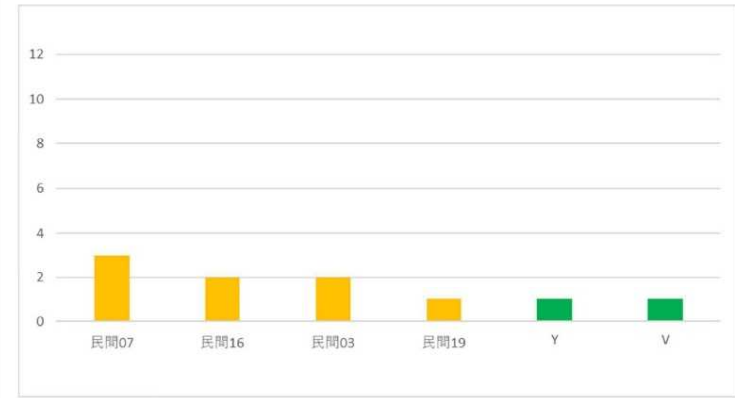
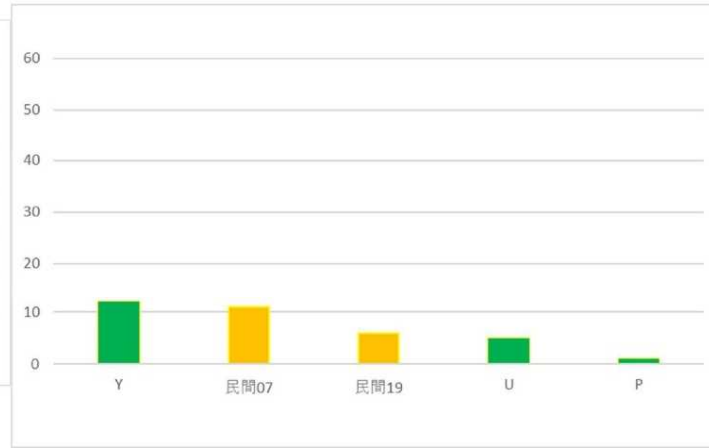
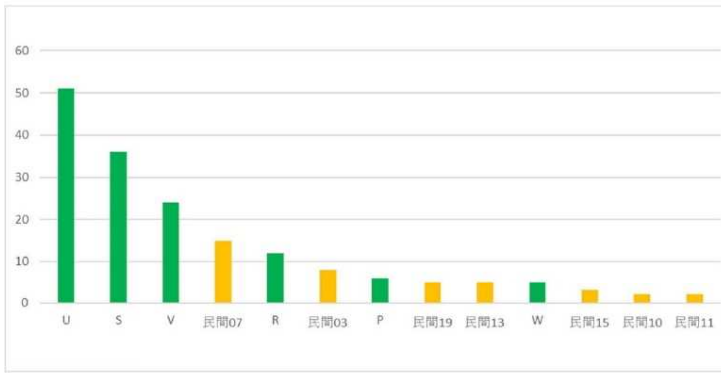
人口20～50万人③ 分娩



人口50~100万人① 消化器悪性腫瘍手術

人口50~100万人① 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

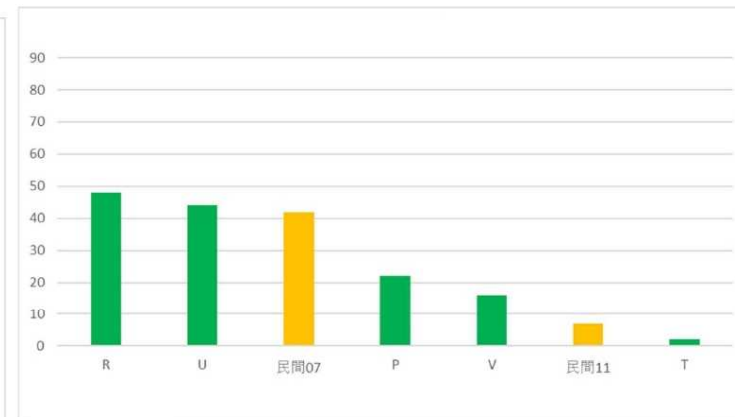
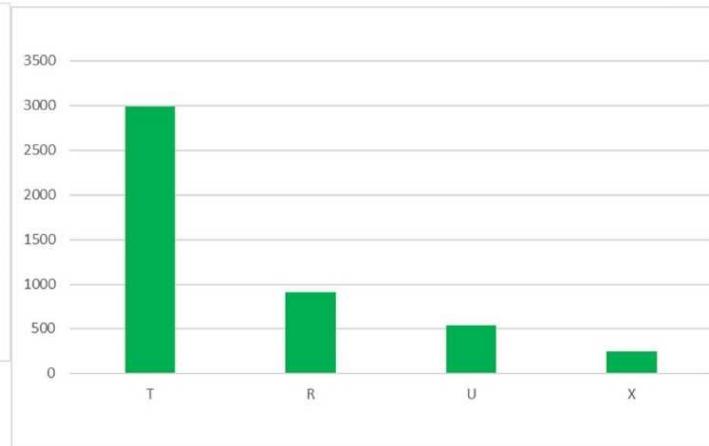
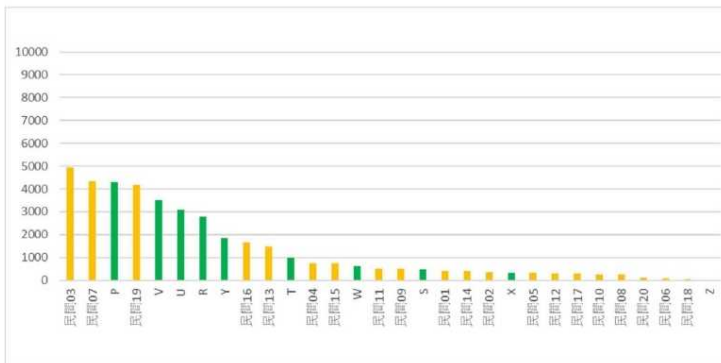
人口50~100万人① 脳動脈瘤クリッピング術



人口50~100万人① 救急車の受入台数

人口50~100万人① 小児入院医療管理料

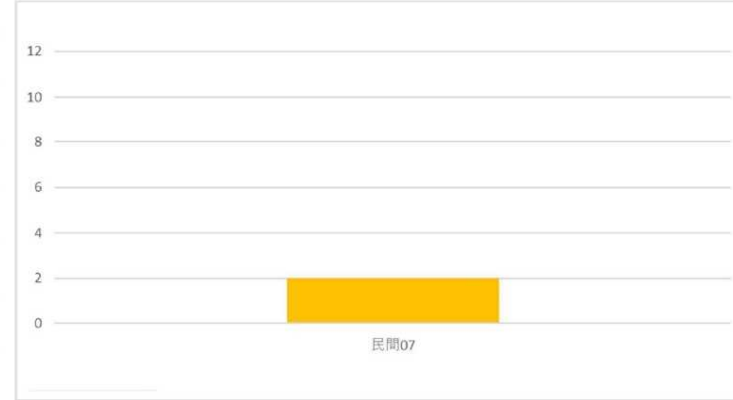
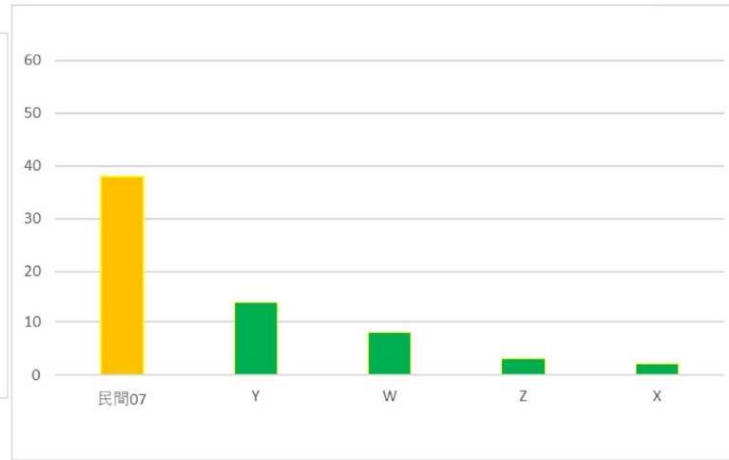
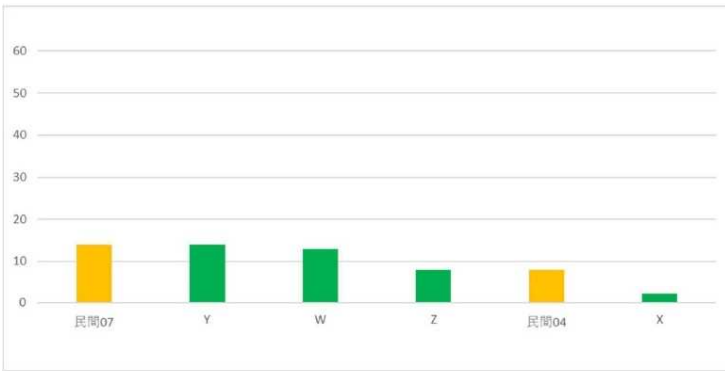
人口50~100万人① 分娩



人口50~100万人② 消化器悪性腫瘍手術

人口50~100万人② 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

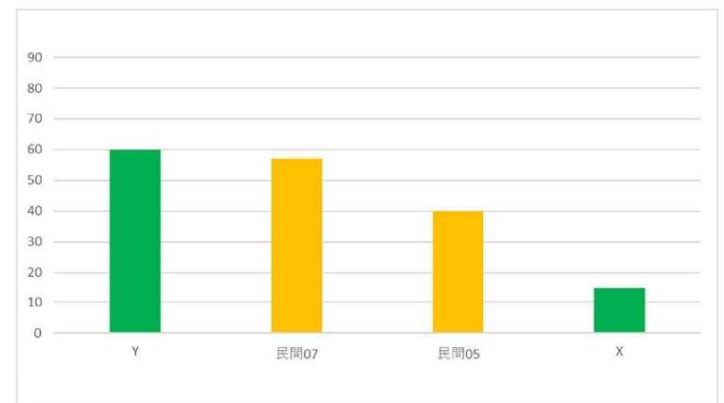
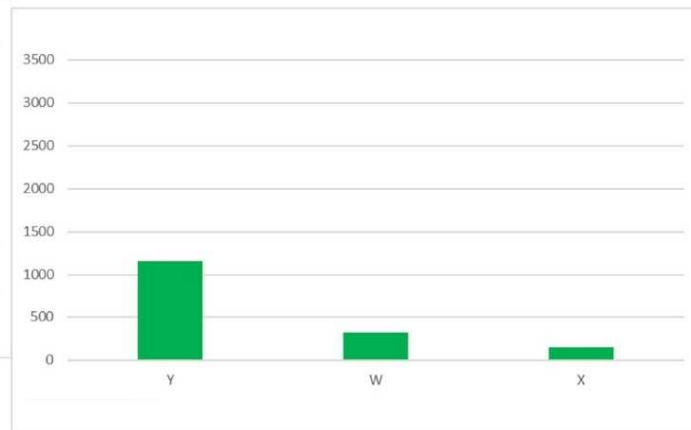
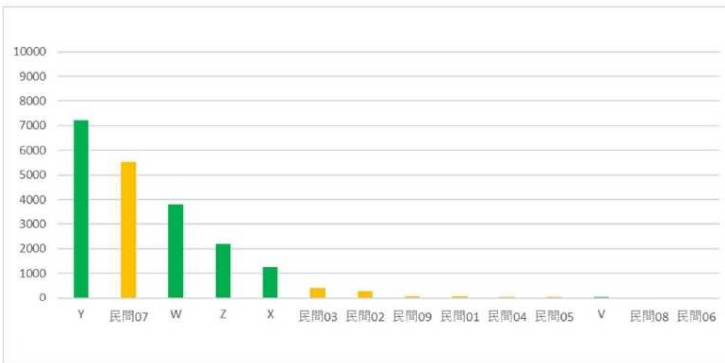
人口50~100万人② 脳動脈瘤クリッピング術



人口50~100万人② 救急車の受入台数

人口50~100万人② 小児入院医療管理料

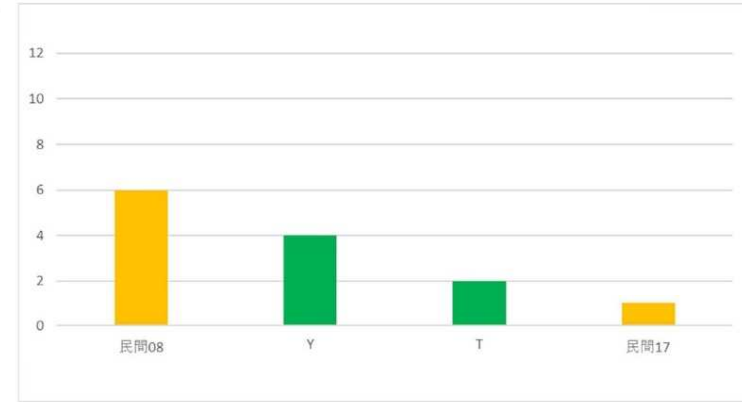
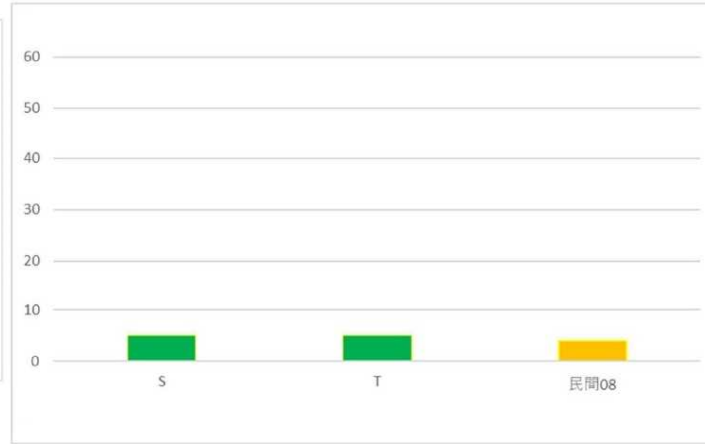
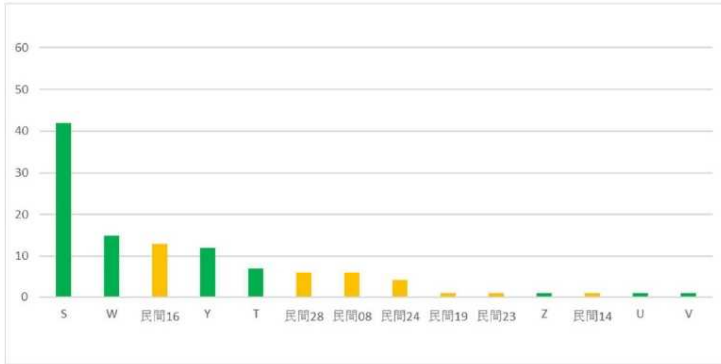
人口50~100万人② 分娩



人口50~100万人③ 消化器悪性腫瘍手術

人口50~100万人③ 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

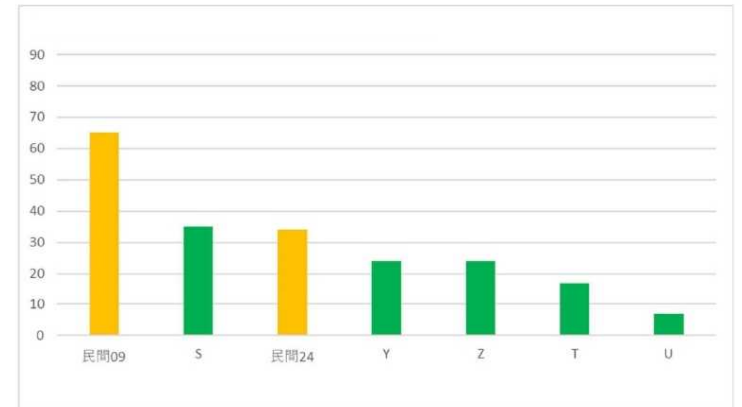
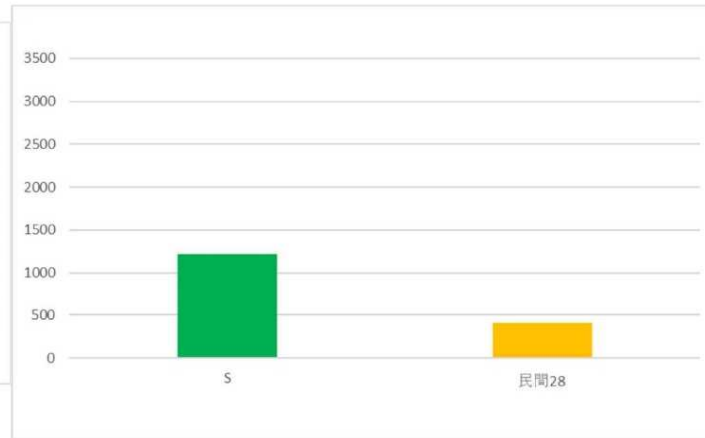
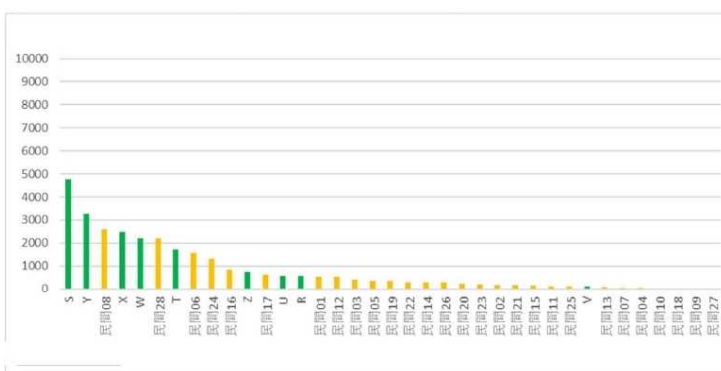
人口50~100万人③ 脳動脈瘤クリッピング術



人口50~100万人③ 救急車の受入台数

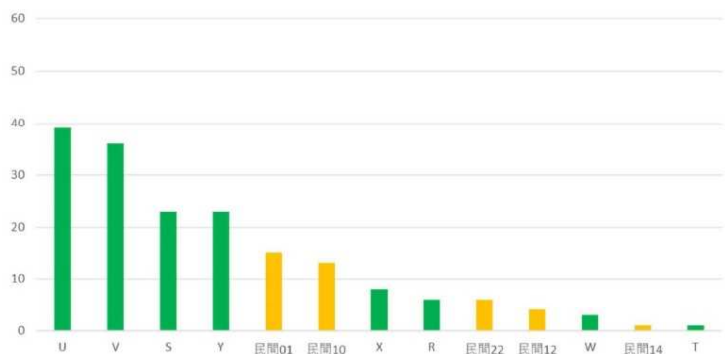
人口50~100万人③ 小児入院医療管理料

人口50~100万人③ 分娩



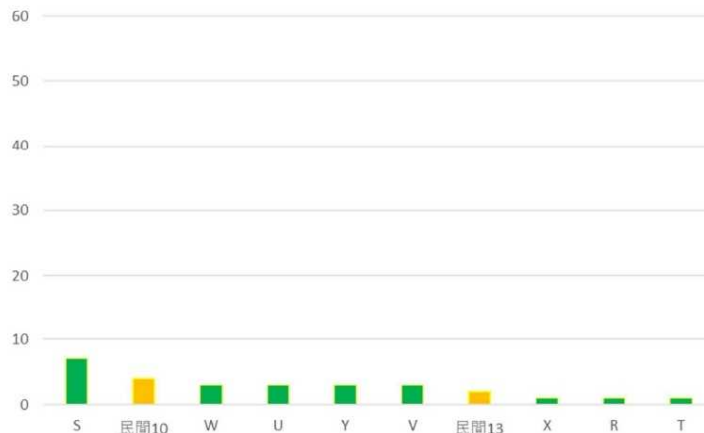
構想区域 フ

人口100万人～① 消化器悪性腫瘍手術



構想区域 フ

人口100万人～① 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



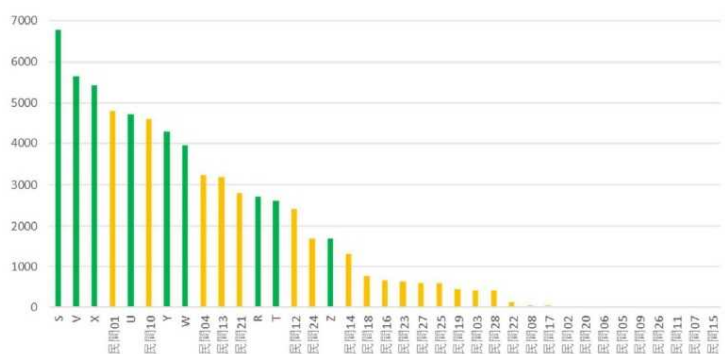
構想区域 フ

人口100万人～① 脳動脈瘤クリッピング術



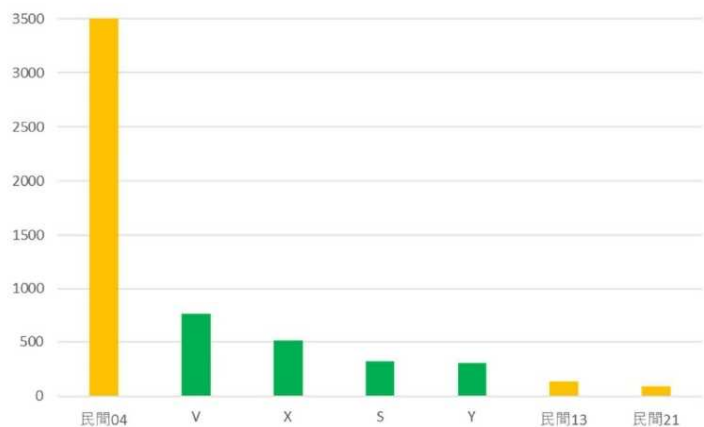
構想区域 フ

人口100万人～① 救急車の受入台数



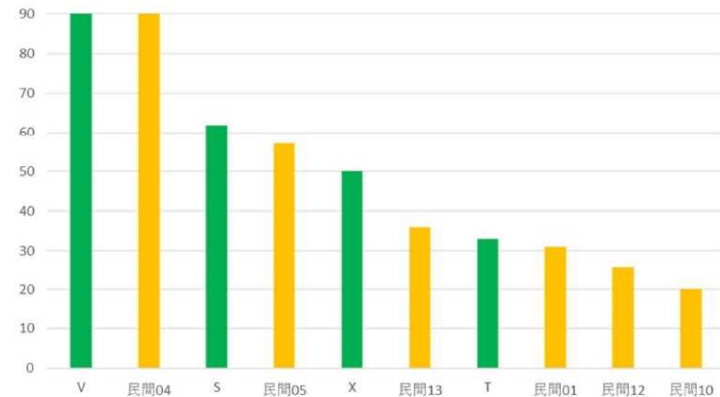
構想区域 フ

人口100万人～① 小児入院医療管理料



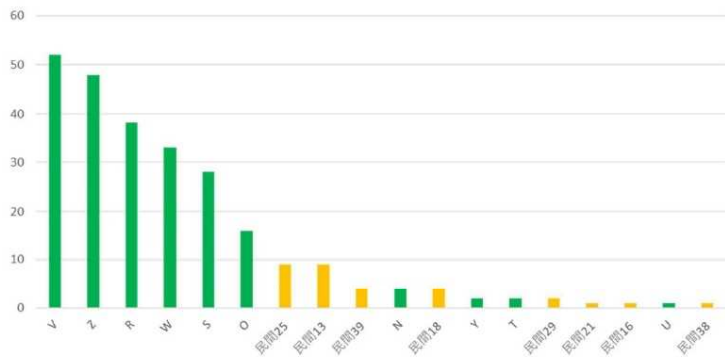
構想区域 フ

人口100万人～① 分娩



人口100万人～② 消化器悪性腫瘍手術

構想区域 カ



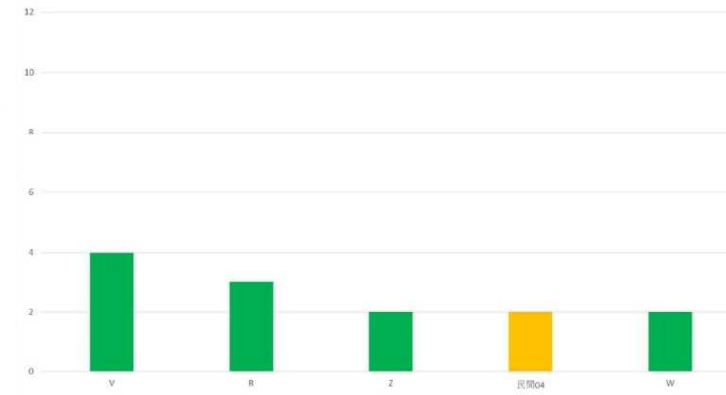
人口100万人～② 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

構想区域 カ



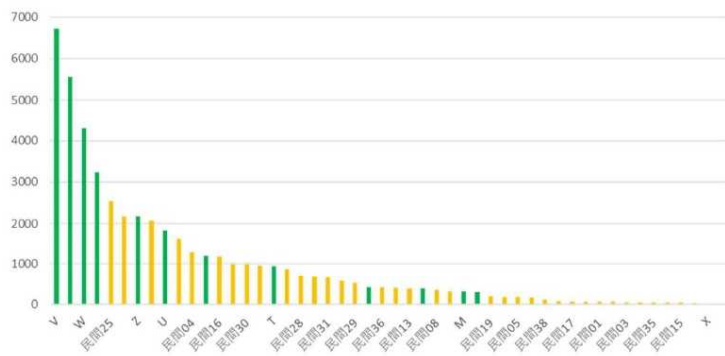
人口100万人～② 脳動脈瘤クリッピング術

構想区域 カ



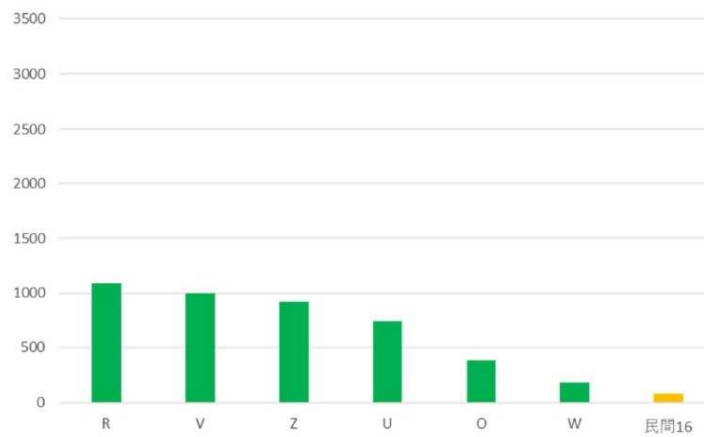
人口100万人～② 救急車の受入台数

構想区域 カ



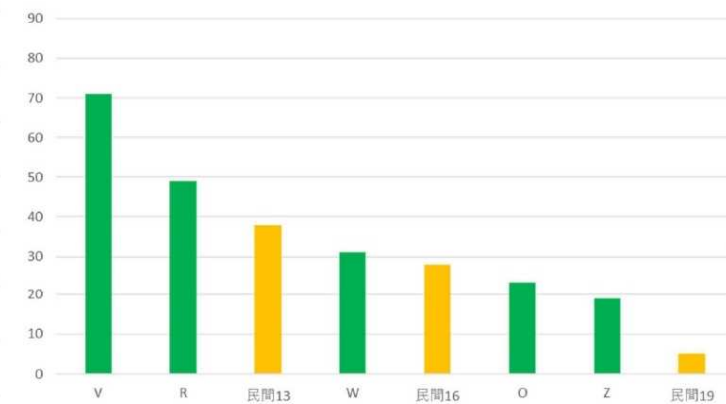
人口100万人～② 小児入院医療管理料

構想区域 カ



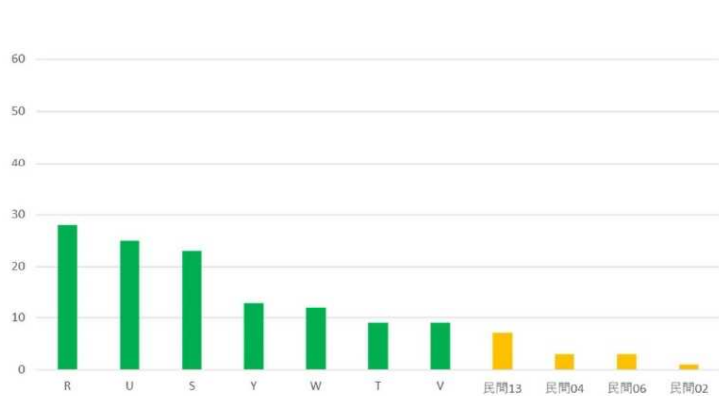
人口100万人～② 分娩

構想区域 カ



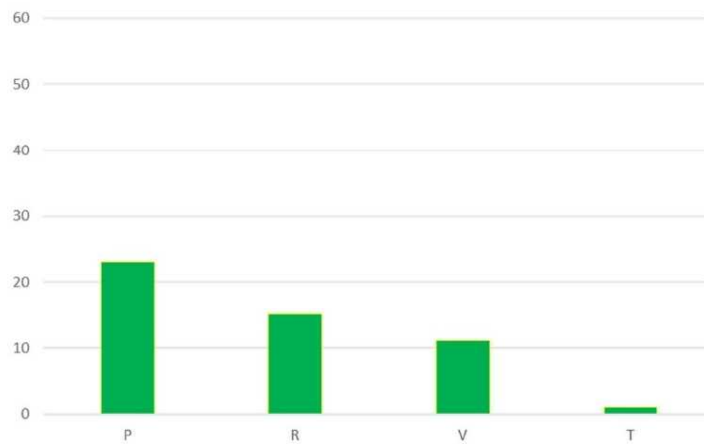
人口100万人～③ 消化器悪性腫瘍手術

構想区域 タ



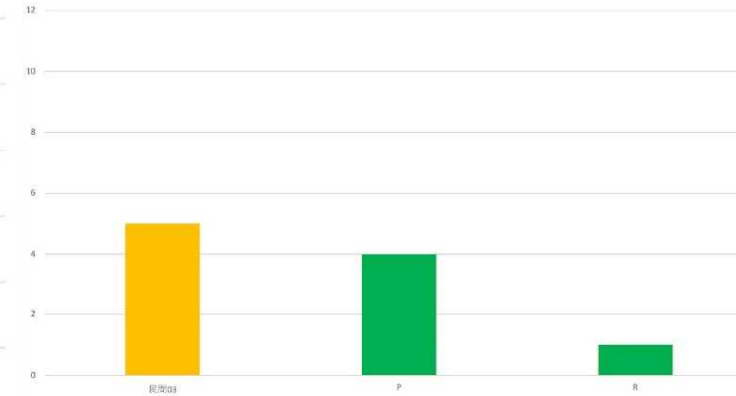
人口100万人～③ 心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術

構想区域 タ



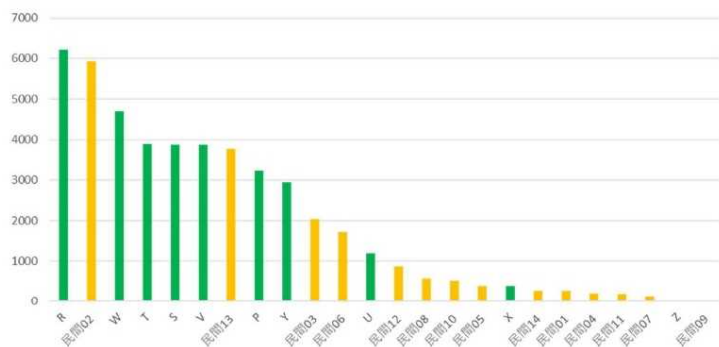
人口100万人～③ 脳動脈瘤クリッピング術

構想区域 タ



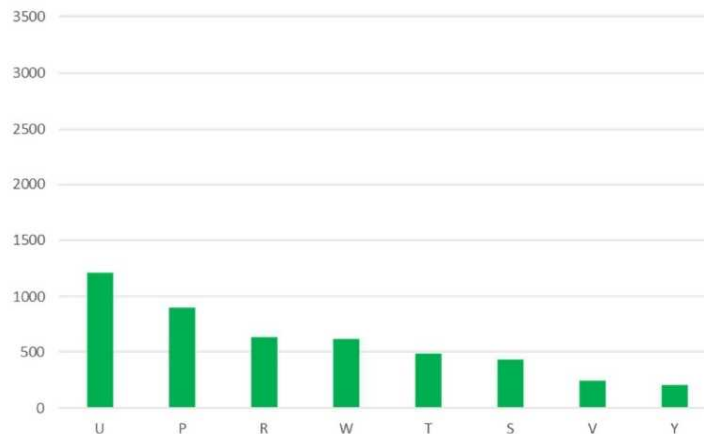
人口100万人～③ 救急車の受入台数

構想区域 タ



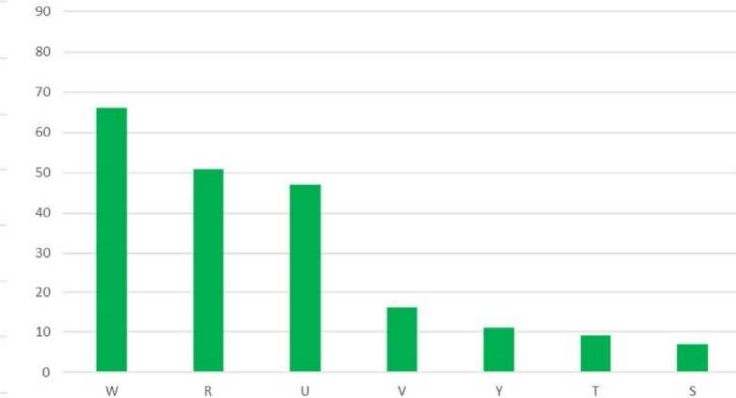
人口100万人～③ 小児入院医療管理料

構想区域 タ



人口100万人～③ 分娩

構想区域 タ



(参考) 公立・公的医療機関、民間医療機関における
人口区分別 領域・項目ごと/医療機関ごと
の診療実績の分布について

(ヒストグラムで表したものの)

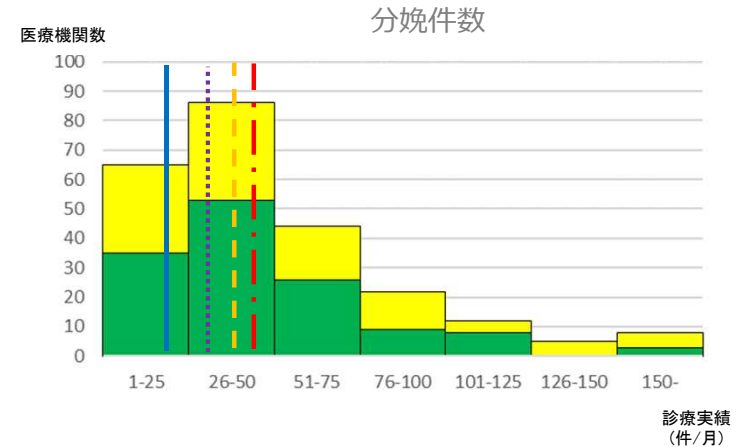
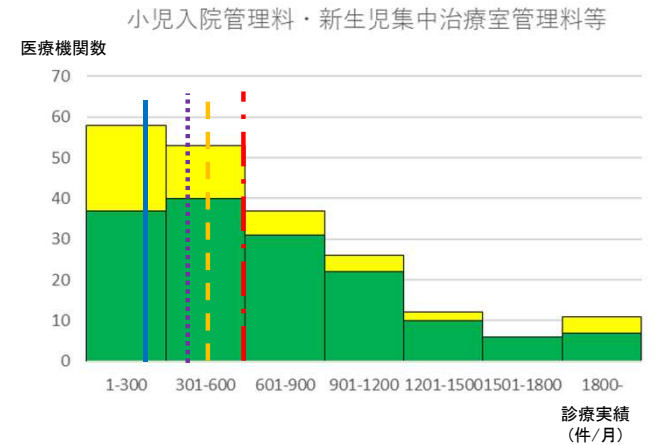
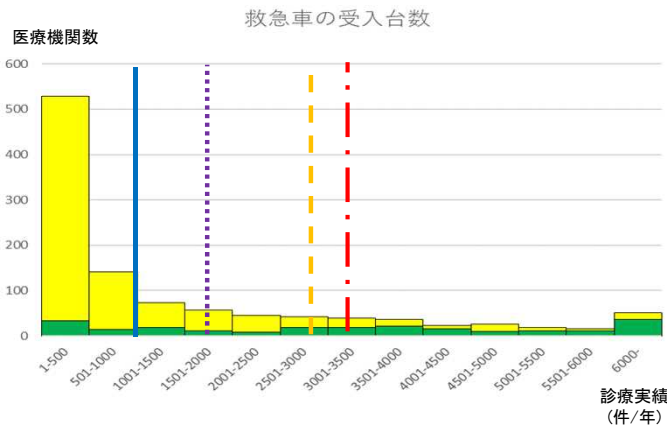
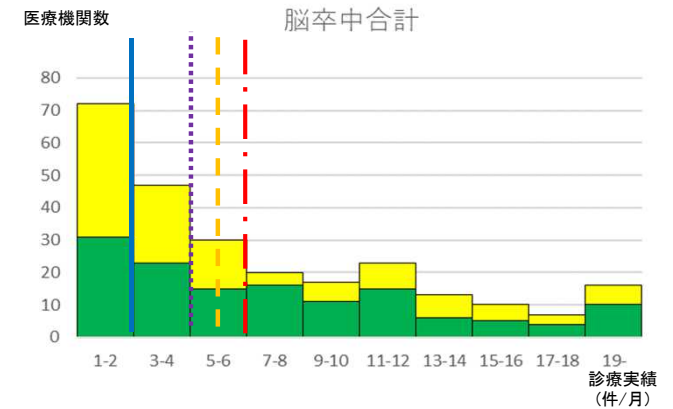
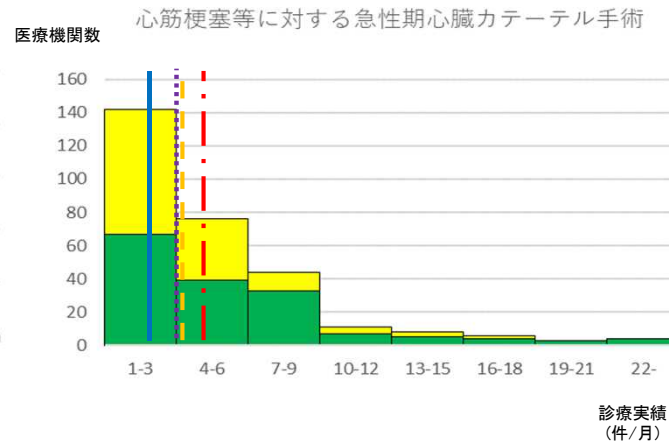
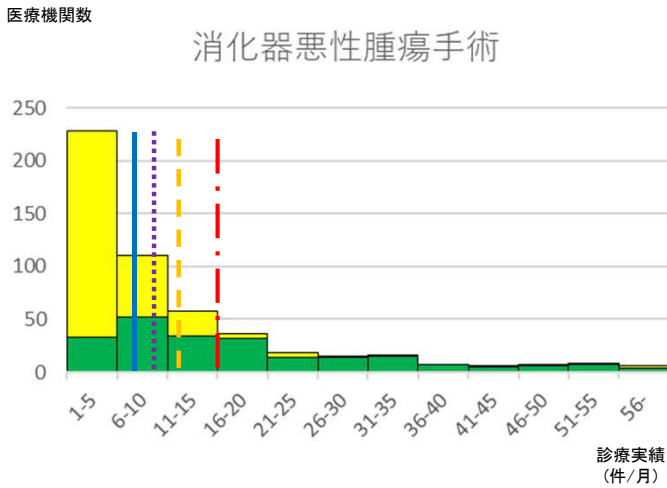
他の医療機関による役割の代替可能性がある公立・公的医療機関等についての分析①

精査中

○ 各診療項目ごとの医療機関の実績の分布を参考に下記の通り示す
 (人口100万人以上の構想区域における医療機関ごとの実績の分布)

人口100万人以上の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

凡例	
■ 民間	(青実線) 下位20パーセンタイル
■ 公立・公的	(紫丸点線) 下位30パーセンタイル
	(橙破線) 下位40パーセンタイル
	(赤長罫線) 下位50パーセンタイル



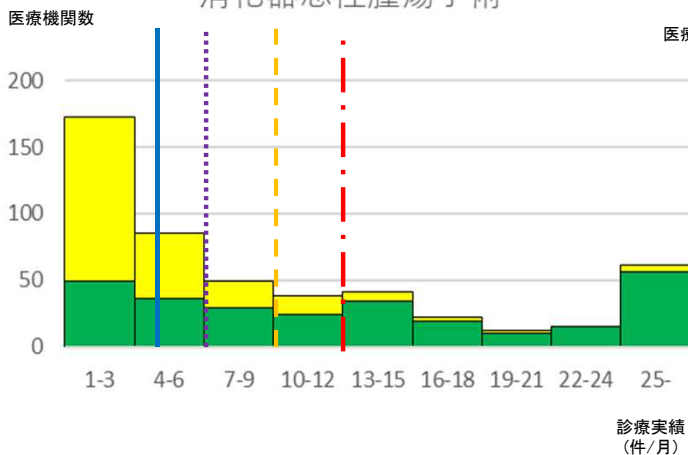
- ※ 診療実績がある医療機関のみのパーセンタイル値で判断する。
- ※ 「消化器悪性腫瘍手術」： 胃がん、大腸がん、食道がん、肝臓がん、胆嚢・胆道がん、膵臓がんに対する開腹手術・腹腔鏡手術等が含まれる。
- ※ 「脳卒中合計」： 脳動脈瘤クリッピング術、超急性期脳卒中加算、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術、経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術・経皮的脳血栓回収術、経皮的脳血管ステント留置術、頭蓋内血腫除去術、減圧開頭術等が含まれる。
- ※ 各領域（例：小児医療）の項目に対応する病床機能報告の項目（小児入院管理料のうち、一般小児医療に関連するもの等）は、厚生労働省が分析を進める上で、地域医療構想に関するWGの構成員等の有識者と協議をしながら決定するものとする。
- ※ パーセンタイルは公立・公的医療機関等のうち、診療実績が「1」以上の医療機関で算出した。

他の医療機関による役割の代替可能性がある公立・公的医療機関等についての分析②

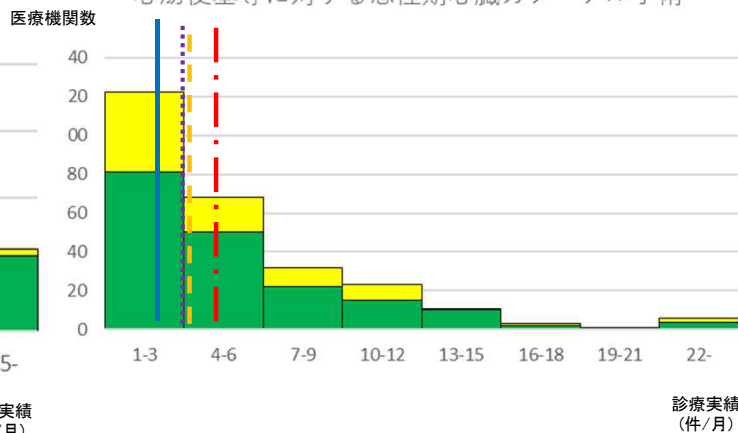
精査中

人口50万人以上100万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

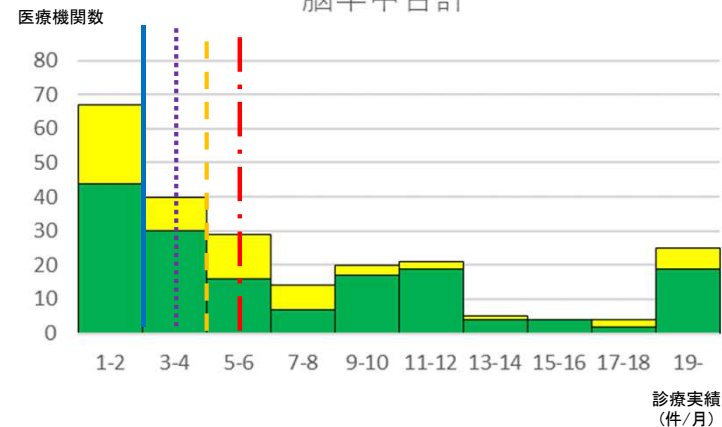
消化器悪性腫瘍手術



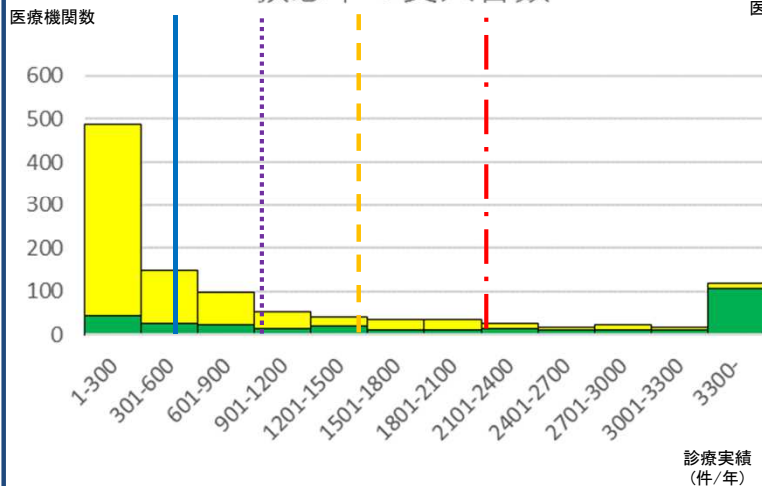
心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



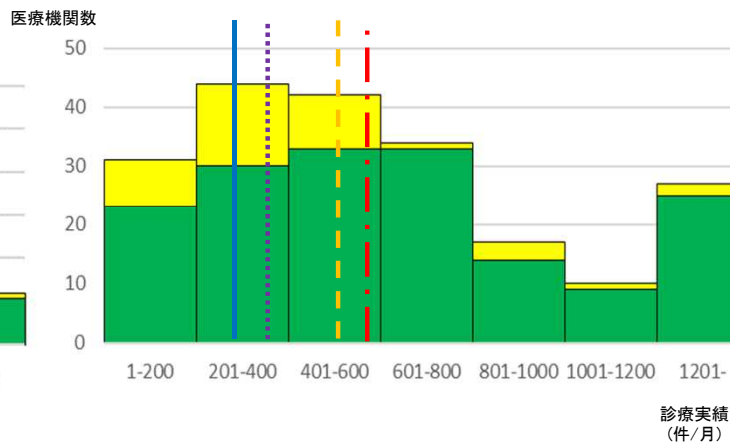
脳卒中合計



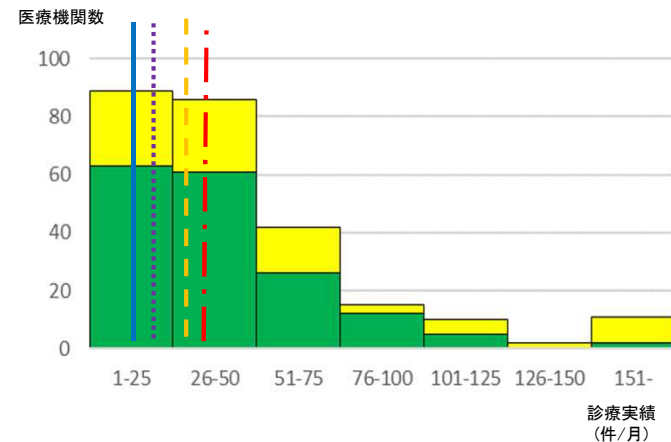
救急車の受入台数



小児入院管理料・新生児集中治療室管理料等



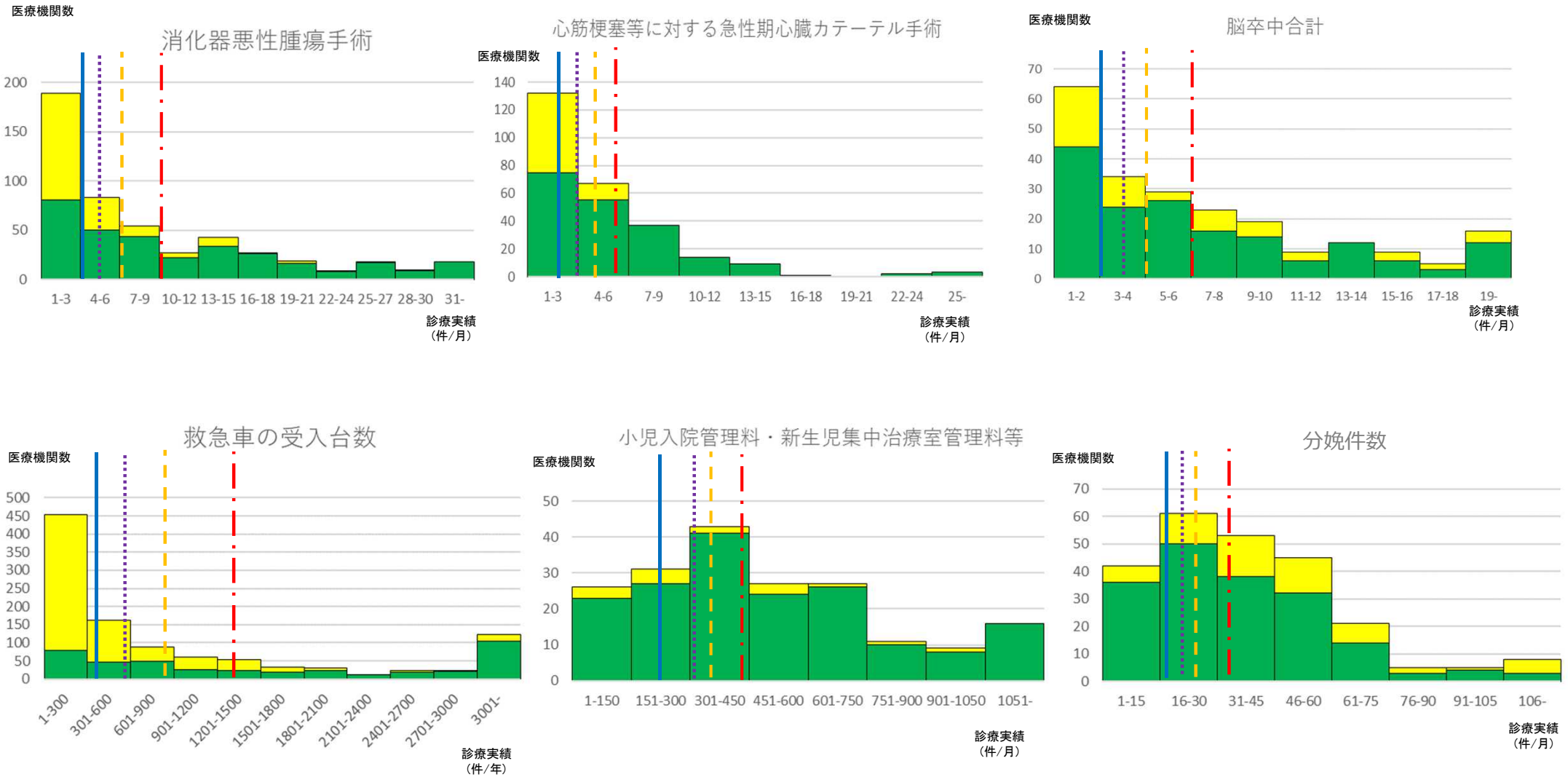
分娩件数



他の医療機関による役割の代替可能性がある公立・公的医療機関等についての分析③

人口20万人以上50万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

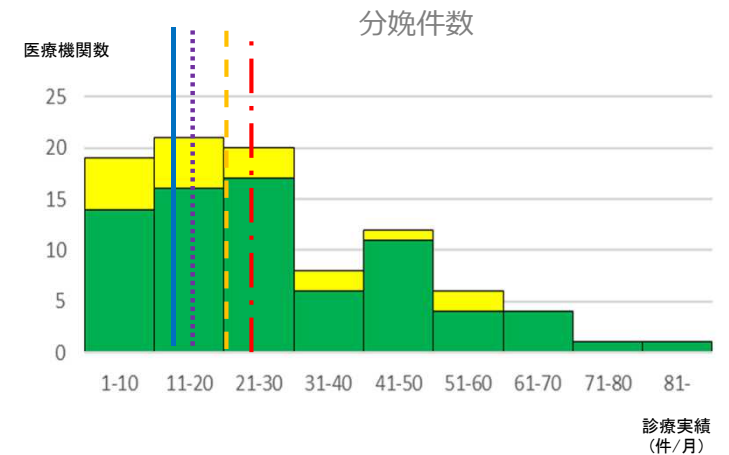
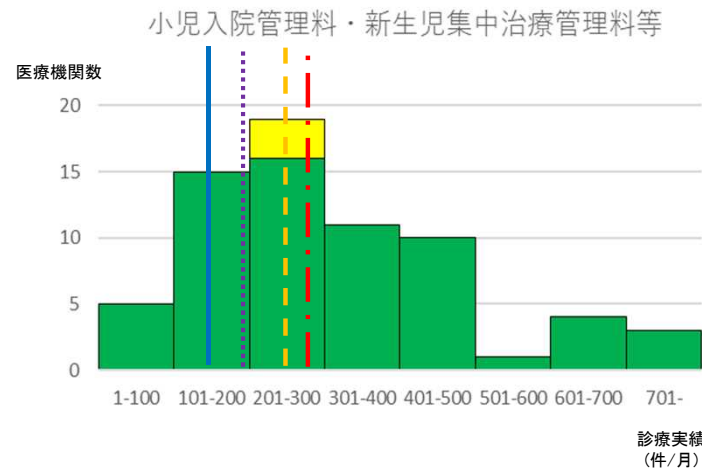
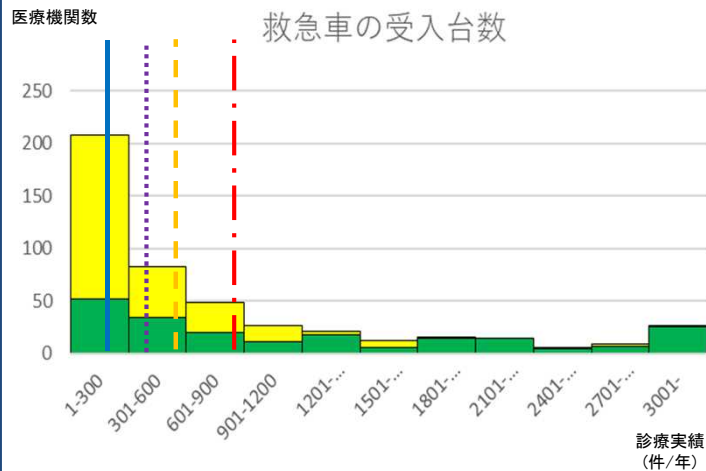
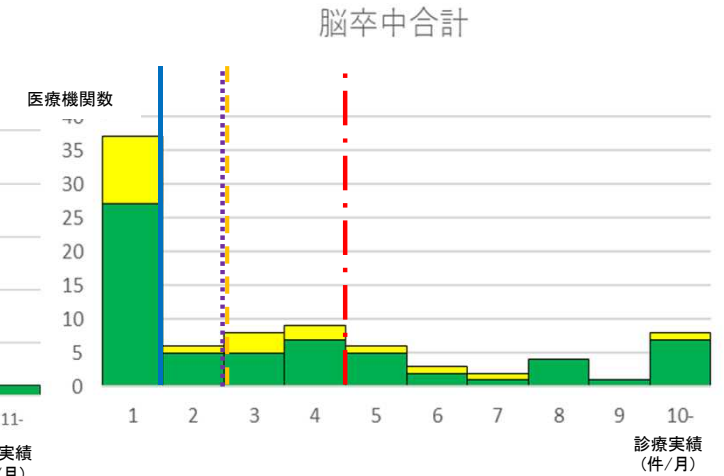
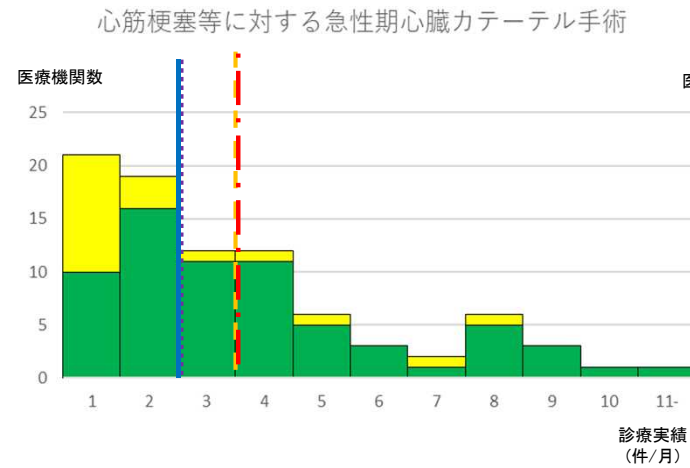
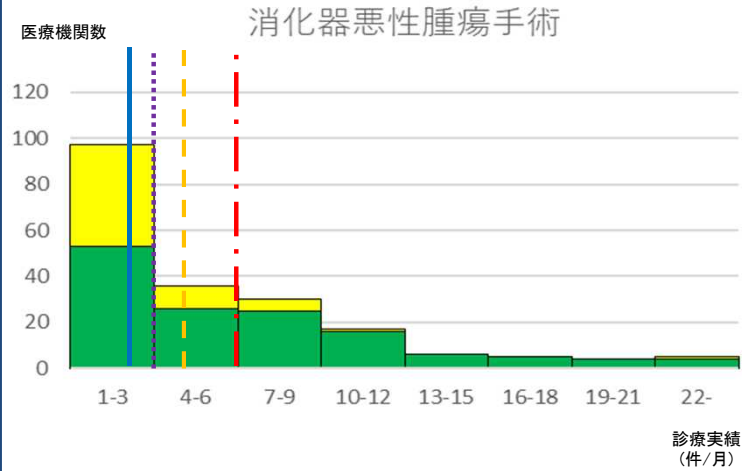
精査中



他の医療機関による役割の代替可能性がある公立・公的医療機関等についての分析④

人口10万人以上20万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

精査中

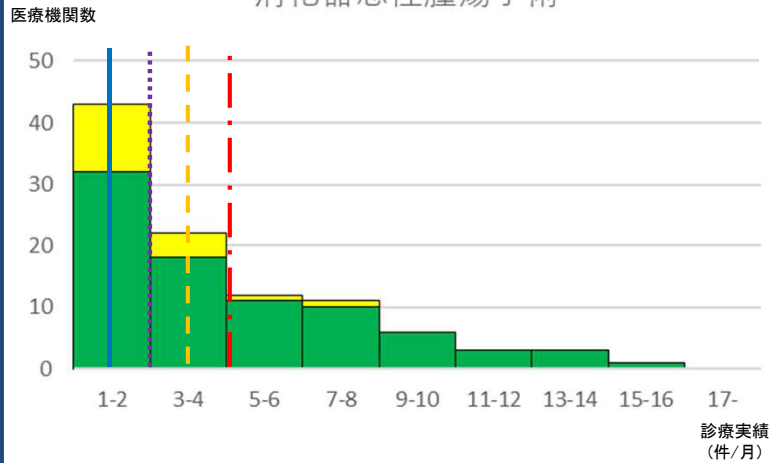


他の医療機関による役割の代替可能性がある公立・公的医療機関等についての分析⑤

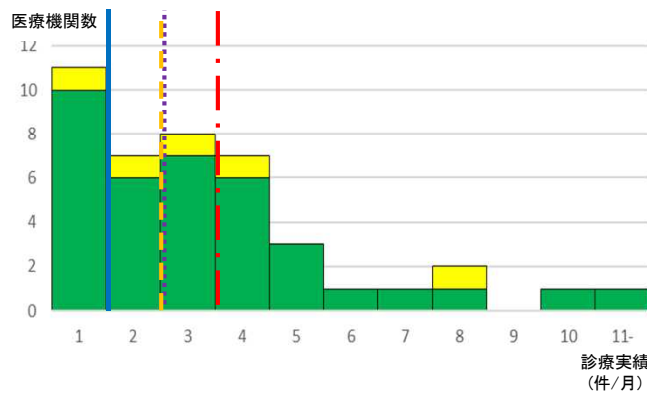
人口10万人未満の構想区域における診療実績に関するヒストグラム

精査中

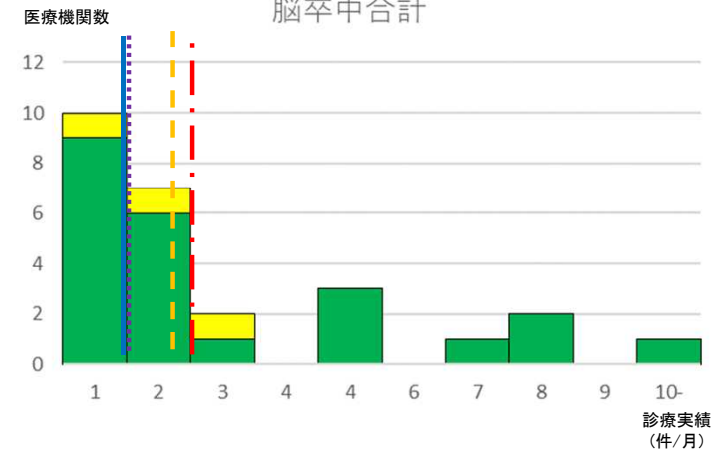
消化器悪性腫瘍手術



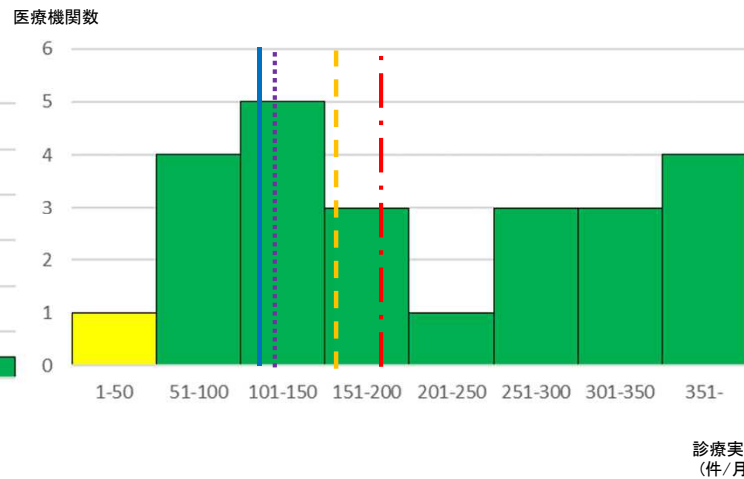
心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術



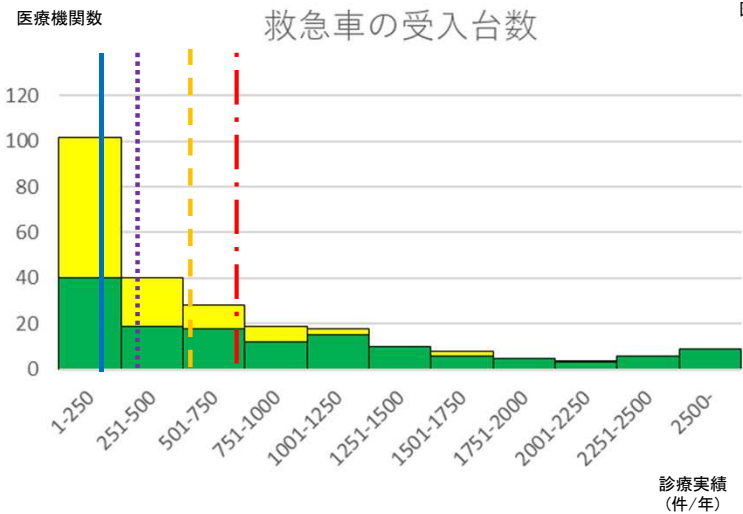
脳卒中合計



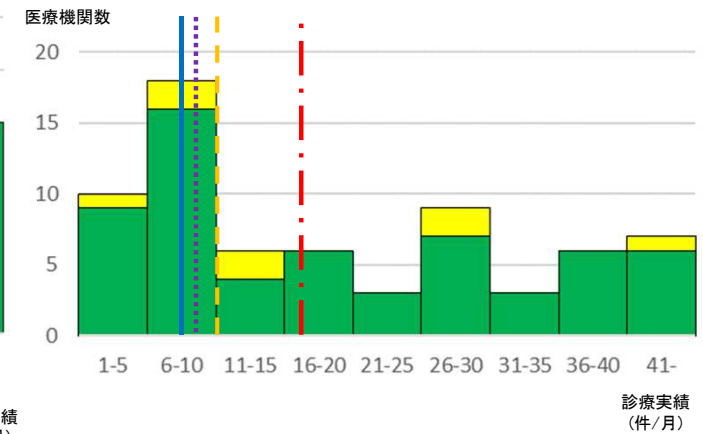
小児入院管理料・新生児集中治療室管理料等



救急車の受入台数



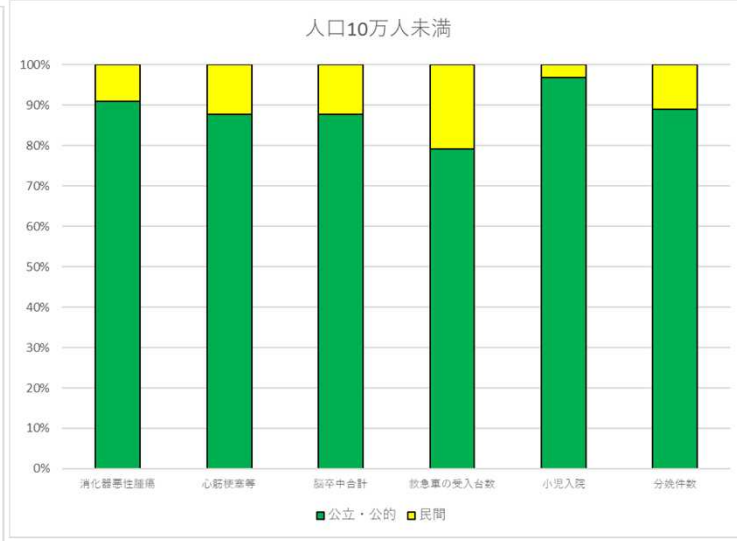
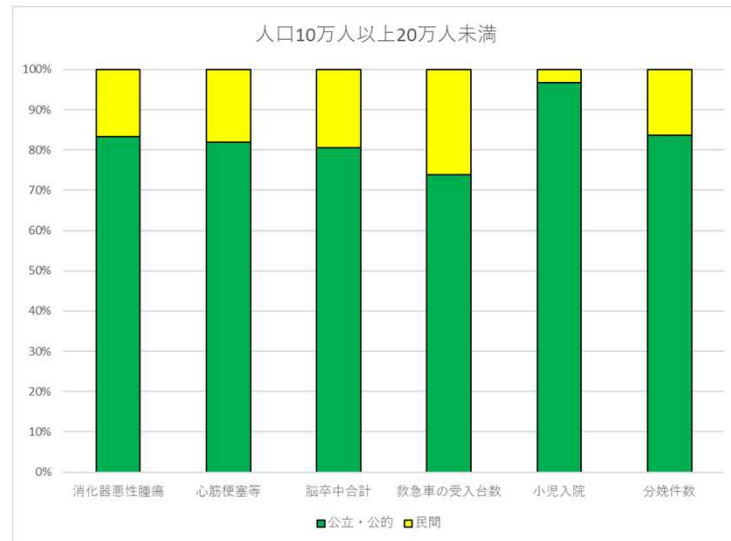
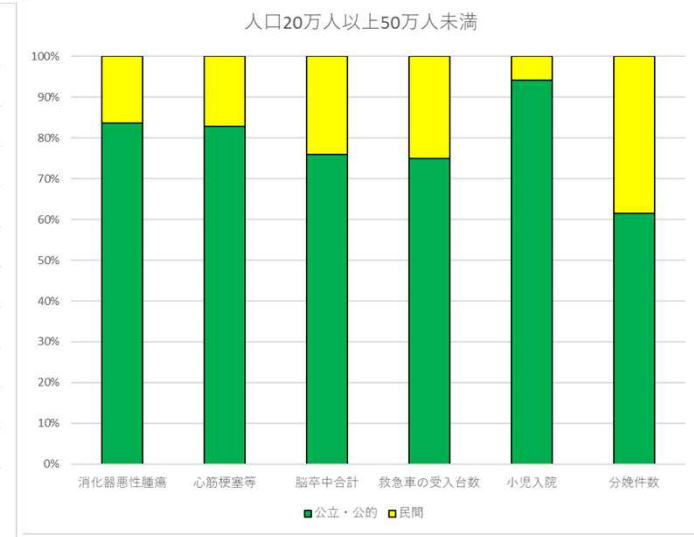
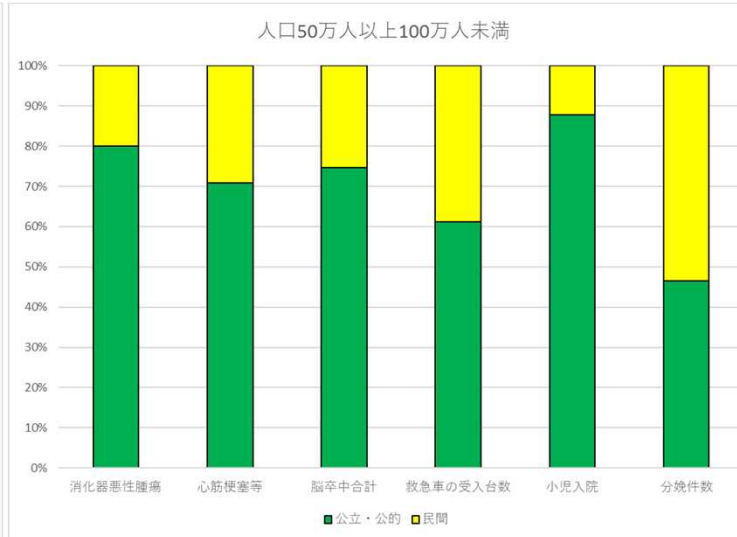
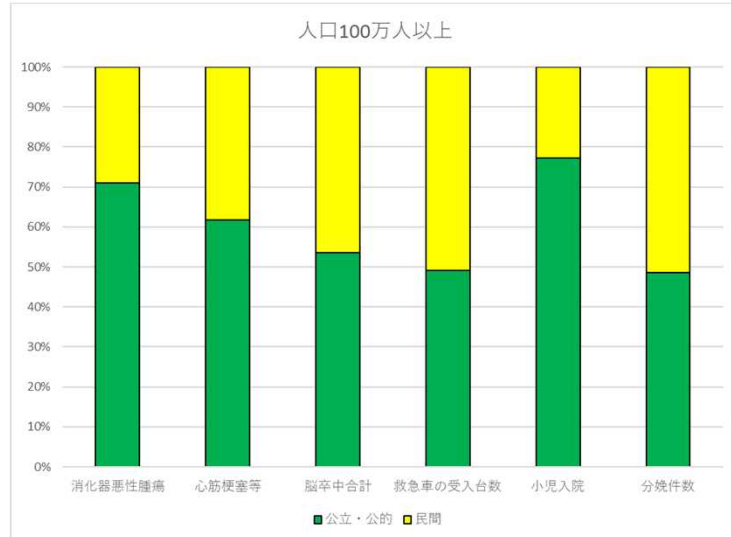
分娩件数



(参考)人口区分別
領域・項目ごとの診療実績の公民比

人口区分別 領域・項目ごとの診療実績の公民比

精査中



※ 「消化器悪性腫瘍」は消化器悪性腫瘍手術件数、「心筋梗塞等」は心筋梗塞等に対する急性期心臓カテーテル手術、「小児入院」は小児入院管理料・新生児集中治療室管理料等。